

議案第14号

令和8年度当初予算要求について

令和8年度教育費当初予算を要求することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定に基づき、本委員会の意見を求める。

令和8年2月19日 提出

琴浦町教育委員会教育長 河原裕司

令和8年2月19日 承認

琴浦町教育委員会

一人ひとりの成長を支援し持続可能な学びのセーフティネットを構築します

誰一人取り残さない学びのセーフティネット

不登校対策の拡充

22,049千円

校内サポート教室増設による居場所づくり

東伯中、赤碓中、浦安小、赤碓小の4校に設置 (R7は1校)
教育相談員やスクール・ソーシャル・ワーカーを引き続き配置

フリースタイル利用料助成拡充 (上限額up)

施設整備と適切な維持管理、環境整備 161,570千円

トイレ洋式化 (小学校3校) 35,932千円
照明LED化設計 (小学校3校) 6,402千円
中学校体育館空調の基本計画策定 2,200千円
東伯中昇降機前防火防煙スクリーン修繕 11,935千円
聖郷小屋根修繕 5,104千円
その他一般管理費 (各校配分予算含む) 99,997千円

安全な学校給食の提供と保護者負担軽減 224,907千円

単価見直しにより給食の質を確保

1 食あたりの食料費単価を改定

給食費保護者負担を軽減

小学生：無償化 (給食費負担軽減交付金 + 町費)
中学生：据置き (物価高騰対応臨時交付金 + 町費)
給食センター照明LED化 24,024千円
コンテナ、冷蔵庫等更新 10,105千円

就学援助制度等の拡充

16,822千円

給付単価を国基準に準じて一部増額
給食費負担軽減交付金により、小学校学校給食費に対する援助部分は減額

一人ひとりの可能性を引き出す教育

個に応じた学びや学校生活の支援 104,305千円

・学習活動、日本語指導、学校生活の介助など、
個に応じた支援を行うために必要な人員を配置 102,320千円
・医療的ケア対応看護師派遣 1,985千円

琴浦Myスター☆事業 2,367千円

・地域と学校とが協働し地域の子どもたちを育てる
・各校が独自に勤める特色ある学習活動などにより、
地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育む

中学校部活動の地域連携 5,479千円

・生徒の体育・文化活動の機会を確保するため、地域人材を活用
部活動指導員及び部活動外部指導者を配置

教育DXの推進 36,779千円

デジタル技術を活用した学習環境整備

・学習支援ソフト、セキュリティソフト
・校内Wi-Fi機器、教室設置プロジェクト更新
校務DX環境整備
・校務用PC等リース
・教育ネットワーク、学校業務支援システム

急速な少子化を踏まえた今後の教育について

10年後の琴浦町教育のあり方を考える 175千円

・児童数の推移や学校施設等の現状を地域や学校等と共有
・義務教育段階で求められる教育のあり方について、学校
や地域などをとおした意見集約を始める

(様式1)

令和8年度 事業体系図

所属名: 教育総務課

(単位:千円、人)

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続等の別	当初予算額	前年度当初予算額	前々年度決算額	一般職人数	会計年度職員人数
9 教育費	1 教育総務費	1 教育委員会費	243	教育委員会費	継続	2,034	2,201	2,015	0.2	0.0
			小計				2,034	2,201	2,015	0.2
9 教育費	1 教育総務費	2 事務局費	245	教育委員会事務局費	継続	17,740	38,713	35,339	0.2	3.0
			246	ALT配置事業	継続	7,232	7,870	7,122	0.1	2.0
			247	進学支援事業	継続	8,305	8,139	4,902	0.2	0.0
			1533	教育DX推進事業	継続	36,779	89,813	5,855	0.2	2.0
			1125	琴浦Myスター☆推進事業	継続	2,367	2,510	807	0.1	0.0
小計				72,423	147,045	54,025	0.8	7.0		
9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	256 等	一般経常経費(小学校)	継続	114,248	68,424	83,932	0.4	5.0
			小計				114,248	68,424	83,932	0.4
9 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	262 等	一般教育振興費(小学校)	継続	16,333	23,249	42,393	1.0	19.0
			小計				16,333	23,249	42,393	1.0
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	277 等	一般経常経費(中学校)	継続	47,066	80,531	33,192	0.4	2.0
			小計				47,066	80,531	33,192	0.4
9 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	280 等	一般教育振興費(中学校)	継続	23,803	32,708	25,758	1.0	22.0
			1651	中学校国際交流事業	継続	4,102	2,440	2,641	0.2	0.0
			小計				27,905	35,148	28,399	1.2
9 教育費	5 保健体育費	4 給食センター運営費	353	学校給食事業	継続	224,907	181,326	225,162	1.0	1.0
			小計				224,907	181,326	225,162	1.0
所属合計						504,916	537,924	469,118	5.0	56.0

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	243	事業名	教育委員会費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費		目	1 教育委員会費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,034	0	0	0	0	2,034		
前年度予算額	2,201	(比較：△167)			前々年度決算額		2,015	(比較：19)
トータルコスト	3,506	一般職人件費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人件費 0 (0人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	教育委員会を開催し、教育行政における重要・基本的事項の協議・決定及び事務執行状況の監視・評価を行い、広く地域住民の意向を反映した教育行政を実現する。			
前年度からの改善点等	-			
前年度評価で整理した取り組みの内容	今後も教育現場の状況把握に努めるとともに、各種研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていく。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
教育委員会運営	<p>月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会により必要事項を決定する。</p> <p>学校訪問のほか学校行事や地域行事等への参加を通じて、学校や地域の実情、課題の的確な把握に努めるとともに、教職員の働き方改革をはじめとする学校現場の諸課題や地域課題に関する各種研修に積極的に参加する。</p> <p>総合教育会議における意見交換により、教育行政に関する方向性などについて町長との連携強化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬 1,951千円 ・委員旅費 6千円 ・消耗品 12千円 ・負担金 65千円 	2,034	単町	
合計		2,034		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくり	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	17,740	0	768	1	8,000	8,971	聖郷小学校門脇教育図書購入基金利子1	過疎債8,000
前年度予算額	38,713	(比較：△20,973)			前々年度決算額		35,339	(比較：△17,599)
トータルコスト	28,927	一般職人員費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人員費 9,715 (3人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町立小中学校教職員の健康管理のほか町内の小中学生全般に関わる事務を行うことで義務教育環境を整える。鳥取県基準による少人数学級を実現するとともに、不登校児童生徒の支援を行う。							
前年度からの改善点等	急速な少子化に対応した義務教育のあり方について検討をはじめ。フリースクール補助金を拡充する。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	多様化する教育ニーズに対応し、教職員の負担軽減を図るために、必要な環境整備を継続して行う。また、県費負担教職員の増員、処遇改善等について、継続して国や県に働きかけを行う。							
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点				
教職員の健康管理	町内の学校に勤務する教職員に対し健康診断を実施する。 ・健康診断実施手数料 1,593千円 ・教職員ストレスチェック手数料 36千円 ・産業医面接指導委託料 100千円	1,729	単町					
教育事務	町内児童生徒全般に関わる事務を行う。 ・少人数学級協力負担金 10,000千円 ・学校医等公務災害補助事務負担金 10千円 ・就学指導推進協議会負担金 36千円 ・中部子ども支援センター負担金 2,137千円 ・郡小・中学校負担金 315千円 ・県教育施設整備期成会負担金 1千円 ・通信運搬費(学校公用携帯) 278千円 ・手数料 85千円 ・聖郷小学校門脇教育図書購入基金利子積立金 1千円 ・琴浦町就学支援診断書料補助金 105千円 助成対象：審査に必要な診断書料 助成内容：診断書料の全額(上限3,000円/件)	12,968	その他(基金利子) 1、町債 8,000、町 4,967	・少人数学級負担金(2,000千円×5学級分) 赤崎小6年生 浦安小4年生、5年生 東伯中2年生、3年生 ・校務DXに係る費用(R7当初19,969千円)を教育DX事業にて計上				
義務教育環境のあり方検討 【新規】	義務教育段階で求められる教育のあり方について学校や地域などとおした意見集約を始める ・報償費 175千円	175	単町					
フリースクール利用料助成事業 【改善】	フリースクール利用料の一部を助成する。 ・琴浦町フリースクール利用料補助金 2,294千円 助成対象：授業料等、交通費 助成金額：授業料等の全額(上限33千円/月) 交通費全額(公共交通機関)	2,294	県768、町1,526	・授業料助成上限額を引き上げ(3万円/月→3万3千円/月) 近隣フリースクールの月額利用料が値上げされたため				
教育委員会事務局運営費	事務局の運営を行う。 ・報償金 11千円 ・普通旅費 253千円 ・教育長交際費 20千円 ・消耗品 193千円 ・燃料費 52千円 ・修繕料 20千円 ・通信運搬費 11千円 ・自動車保険料 14千円	574	単町					
合計		17,740						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
時間外在校等時間が45時間/月以下の教職員割合：中学校	令和6年度	66.7%	教職員の健康管理	目標値	100%	100%	100%	100%
				実績値	66.7%	-	-	-
ストレスチェックにおける高ストレス者以外の割合	令和6年度	91.1%	教職員の健康管理	目標値	92%	92%	92%	92%

合				実績値	91.1%	-	-	-
時間外在校等時間が45時間/月以下の教職員割合：小学校	令和6年度	88.5%	教職員の健康管理	目標値	100%	100%	100%	100%
				実績値	88.5%	-	-	-

令和8年度 児童生徒数等の推定（R7年12月時点）

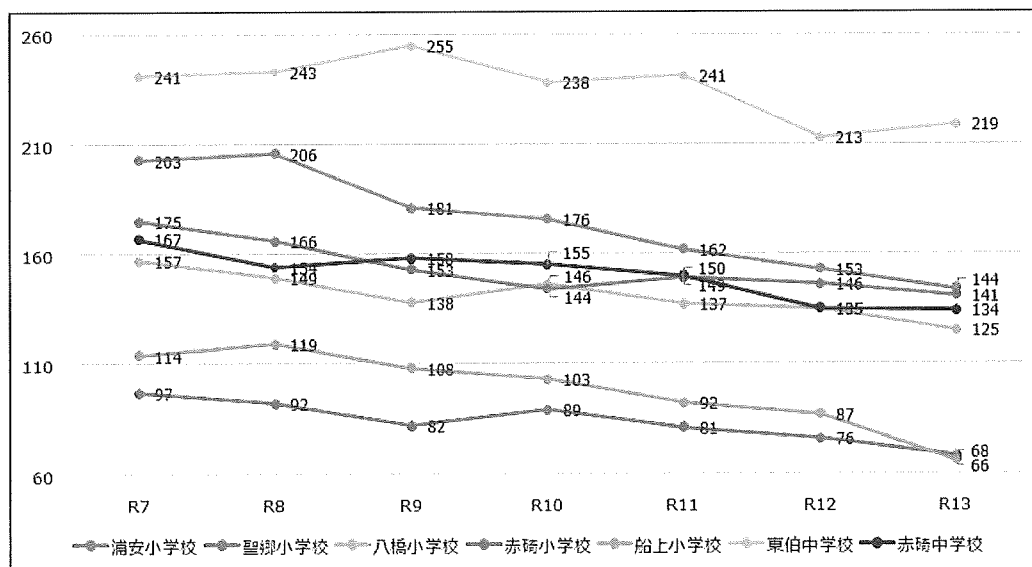
学校名	児童生徒数（人）	通常学級数	特別支援学級数	教職員数
浦安小学校	200	10	4	34
聖郷小学校	90	6	2	20
八橋小学校	147	6	5	26
赤碓小学校	164	7	3	25
船上小学校	120	6	3	20
小計	721	35	17	125
東伯中学校	243	9	4	48
赤碓中学校	152	6	2	34
小計	395	15	6	82
合計	1,116	50	23	207

令和7年度以降の児童・生徒数の推定（R7年5月調査）

（単位：人）

学校名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	減少率
浦安小学校	203	206	181	176	162	153	144	29.1%
聖郷小学校	97	92	82	89	81	76	68	29.9%
八橋小学校	157	149	138	146	137	135	125	20.4%
赤碓小学校	175	166	153	144	149	146	141	19.4%
船上小学校	114	119	108	103	92	87	66	42.1%
東伯中学校	241	243	255	238	241	213	219	9.1%
赤碓中学校	167	154	158	155	150	135	134	19.8%
全体	1,154	1,129	1,075	1,051	1,012	945	897	22.3%

その他事業内容



令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	246	事業名	ALT配置事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくり (2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり					④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	7,232	0	0	0	5,600	1,632		過疎債5,600
前年度予算額	7,870	(比較：△638)			前々年度決算額		7,122	(比較：110)
トータルコスト	13,408	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	5,440 (2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	学校生活の中で外国語や外国文化に興味を持つきっかけを作ることで、外国語に対して苦手意識を持つことなく、コミュニケーション手法の一つとしての英語力を身につけた人材を育成する。							
前年度からの改善点等	-							
前年度評価で整理した取り組みの内容	現在のALTが任期を終えて帰国するため、新たなALTを中学校にそれぞれ1名配置する。 引き続き、外国語に親しむ機会を増やしていくことで、児童生徒の英語力向上を図る。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
小学校ALT配置事業	児童が外国語に親しむ機会とするため、小学校にALTを派遣する。 1名のALTが町内5つの小学校を巡回する。 ・ALT派遣委託料 5,790千円			5,790	町債 5,600、町 190			
中学校ALT配置事業	中学校2校にALTを配置する。 ・費用弁償(出張旅費・帰国費用) 424千円 ・手数料、保険料 66千円 ・自治体国際化協会負担金 586千円 ・ALT家賃補助金 366千円			1,442	単町			
合計				7,232				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
「英語の学習が好き」とあると肯定的に回答した児童(小6：県英語教育実施状況調査)	令和6年度	62.8%	小学校ALT配置事業	目標値	75%	75%	75%	75%
				実績値	62.8%	-	-	-
「英語の学習が好き」とあると肯定的に回答した生徒(中3：県英語教育実施状況調査)	令和6年度	54.6%	中学校ALT配置事業	目標値	70%	70%	70%	70%
				実績値	54.6%	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	247	事業名	進学支援事業	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	8,305	0	2,367	3,571	0	2,367	林原育英奨学金基金利子 1 林原育英奨学金基金繰入金 3,180 林原育英学資貸与元金収入 390	
前年度予算額	8,139	(比較：166)			前々年度決算額		4,902	(比較：3,403)
トータルコスト	9,777	一般職人件費			1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費	0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	高校への通学にかかる経費負担を軽減し、修学機会を拡大する。			
前年度からの 改善点等	-			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	高校生等通学費補助金について、保護者負担の軽減と利便性向上のため電子申請の導入をすすめる。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
高校生等通 学費補助事 業	町内の高校生等がJRや路線バス、琴浦町営バスを利用する 内の通学費の一部を助成する。 ・高校生通学費補助金 4,500千円 対 象：JR通学定期券代、バス定期代（一部） 助成額：月額7,000円を超える額 ・高校生町内バス通学費補助金 234千円 対 象：琴浦町営バス通学定期券代 助成額：定期券代の8割	4,734	県1/2、町 1/2	
林原育英奨 学資金貸付 事業	高校、大学等への進学を支援するため、奨学資金（無利子） を貸与する。 ・奨学金貸付金 3,180千円 大学生 月額6万円 高校生 月額1万円 大学等入学支度金 30万円 ・基金積立金 390千円 ・基金利子積立金 1千円	3,571	その他（林 原育英）	
	合計	8,305		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1533	事業名	教育DX推進事業	事業区分	□新規 ■継続
担当課	教育総務課		担当係	総務係	
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目 2 事務局費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			③ ICTを活用した個別最適な学びの提供	
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

2 当該年度の事業費

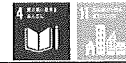
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	36,779	0	1,107	0	4,500	31,172		過疎債4,500
前年度予算額	89,813	(比較：△53,034)			前々年度決算額	5,855	(比較：30,924)	
トータルコスト	45,644	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費		7,393 (2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	デジタル技術を活用することで、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びを充実させるとともに、校務DXによる教職員の働き方改革を推進する。							
前年度からの改善点等	小中学校に導入したプロジェクトが耐用年数を経過し、照度低下等の不具合を生じているため、計画的な更新を行う。Windows11に対応するため、校務用PCを追加整備する。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	タブレット端末、プロジェクトその他近年多くの機器を導入しており、計画的な更新について検討を行う。あわせて、これら機器を広く活用するため、ソフト面の検討も行う。また、ICT支援員の配置等、支援体制について検討を行う。							
細事業等	内容			予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点		
デジタル技術を活用した学習環境整備 【改善】	デジタル技術を活用した学習を効果的に進めるため、必要なソフトウェアの導入およびWiFi環境等のハードウェアの整備を行う。 ・学習支援、セキュリティソフト等使用料 4,164千円 ・校内WiFi機器更新リース料 4,554千円 (ルーター、スイッチ、ネットワーク管理ソフト等) ・天吊りプロジェクター更新 (15台) 4,620千円 ・タブレット等修繕料 140千円 ・学習用モバイルルーター貸与 803千円 ・校内インターネット回線利用料 (TCC) 555千円 ・手数料 86千円			14,922	県1,107、町債4,500、町9,385	・学習支援ソフトを試行期間(無償)から有償化に変更する。 ・小中学校にR1、2年で55台の天吊りプロジェクターを導入したが、耐用年数5年を経過し、照度低下の不具合を生じているため、レーザー型に3年計画で更新する。R8年度は、15台を更新予定。 ・学習者用タブレットの整備がR7で完了したため、R8予算は、R7と比較して大幅な減額となっている。		
校務DX環境整備 【改善】	教職員の働き方改革を推進するため、校務DX環境を整備する。 ・採点システム使用料 275千円 ・校務PC等リース料 既リース契約分 15,034千円 追加リース契約分 1,614千円 ・教育ネットワーク保守委託料 2,640千円 ・学校業務支援システム負担金 2,294千円			21,857	単町	・Win11対応のため、PC24台を追加リースする。 ・教育委員会事務局費 (R7当初：19,968千円) にて計上していた校務DXに関する費用を本事業で計上する。		
合計				36,779				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
授業で週3回以上PC・タブレットを使用した割合 (小6：全国学調)	令和6年度	32.6%	デジタル技術を活用した学習環境整備	目標値	70%	70%	70%	70%
				実績値	32.6%	65.3%	-	-
職員会議等の資料を完全にペーパーレス化している学校 (文科省GIGAスクール構想下での校務DXチェックリスト)	令和6年度	42.9%	校務DX環境整備	目標値	40%	60%	80%	100%
				実績値	42.9%	-	-	-
授業で週3回以上PC・タブレットを使用した割合 (中3：全国学調)	令和6年度	54.9%	デジタル技術を活用した学習環境整備	目標値	80%	80%	80%	80%
				実績値	54.9%	64.3%	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1125	事業名	琴浦Myスター☆推進事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	指導係			
予算区分	款	9 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,367	0	627	1,000	0	740	ふるさと未来夢基金繰入金1,000	
前年度予算額	2,510	(比較：△143)			前々年度決算額		807	(比較：1,560)
トータルコスト	3,103	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	学校、保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒になって子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める。 琴浦町のふるさと教育「琴浦Myスター☆」をとおして、それぞれの学習活動や取組を関連させ、積み重ねていくことで、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育み、地域の一員としての自覚を促していく。							
前年度からの改善点等	「琴浦Myスター☆」の推進を図るため、各学校が地域の特色を活かしたふるさと教育を学校運営協議会と連携して行う。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	学校運営協議会委員を対象とした研修会の開催や、各校の実施状況などを共有するとともに意見交換を行う場をつくり、各校の取組みを支援する。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
コミュニティ・スクール推進事業	学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる『地域とともにある学校づくり』を進める。 町内全校に設置する学校運営協議会の開催や委員研修のほか、各校の実施状況などを共有し意見交換を行う場をつくるなど、学校それぞれの取組を支援する。 ・学校運営協議会委員報酬 514千円 ・地域コーディネーター報酬金 471千円 ・コミュニティスクール研修会等講師謝金 15千円 ・県コミュニティスクール推進研修会参加旅費 30千円 ・学校支援ボランティア消耗品費 70千円 ・学校支援ボランティア保険料 128千円			1,228	県536、町692			
琴浦Myスター☆事業	各学校で特色ある学習活動や取組を積み重ねていくことで、地域への愛着や誇り、豊かな人間性や社会性を育み、地域の一員としての自覚を促す。 ・報償金 361千円 ・消耗品費 12千円 ・印刷製本費 110千円 ・使用料 184千円 ・保険料 72千円 ・借上料 400千円			1,139	県91、その他(ふるさと)1,000、町48			
合計				2,367				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地域や社会をよくするため何かしてみたいと思う児童の割合(小6：全国学調)	令和6年度	84.1%	琴浦Myスター☆事業	目標値	85%	85%	85%	85%
				実績値	84.1%	78.5%	-	-
地域や社会をよくするため何かしてみたいと思う生徒の割合(中3：全国学調)	令和6年度	77.1%	琴浦Myスター☆事業	目標値	80%	80%	80%	80%
				実績値	77.1%	71.3%	-	-
その他事業内容								

琴浦Myスター☆ -地域を担う人材の育成-

- ・地域の一員としてふるさとを大切にすることを大切にする心を持つ
- ・琴浦町に誇りとし愛着を持ち、継承・発展させようという意欲を持つ
- ・ふるさとに根ざし、グローバルな視点で考え行動することができる
- ・将来にわたり、様々な場面で地域を支えていくことができる

ふるさとの愛着

- ① 出会う (体験活動や交流を通して地域にふれ、愛着を持つ)
- ② 気付く (地域を知り、良さを知ること、地域の一員としての自覚を持つ)
- ③ 考える (地域について学んだことを振り返り、自分ごととして考える)
- ④ 行動する (地域をよくするために自分ができることを考え実践する)

令和8年度の主な取組 ～地域の協力を得ながら、各校独自のふるさと教育をすすめます～

八橋小	浦安小	聖徳小	赤崎小
<ul style="list-style-type: none"> ○あごかつカレーバーガー作り体験 ○ゲストティーチャーによるふるさと教育 ○ひまわり茶屋 (地域住民との交流) ○あいさつと人間関係づくりのワークショップ ○製菓培体験 <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー謝礼 14,000円 ・ワークショップ謝礼 12,000円 ・農園借上料 80,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○町の文化に触れ、学ぶ体験 (絵画、写真、合奏、演奏、香道、琴道等) ○陶芸体験、遠東おどり体験 ○ゲストティーチャーによるふるさと教育 ○新聞アプリを活用したNIE教育 ○東伯赤十字奉仕団との防災学習 ○「鳥の劇場」による演劇を活用したコミュニケーション ○製菓培体験 <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー謝礼 36,000円 ・文化体験謝礼 16,000円 ・新聞アプリ 92,400円 ・農園借上料 80,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○聖徳カフェ (地域住民との交流) ○志教育 (志を立て、郷土へ貢献する心を育てる) ○ゲストティーチャーによるふるさと教育 ○新聞アプリを活用したNIE教育 ○聖徳フェスティバル ○Myスター☆遠足 (住民と地域巡り) ○地元農畜産物の加工体験 ○製菓培体験 <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー謝礼 48,000円 ・聖徳カフェ消耗品 12,000円 ・新聞アプリ 42,240円 ・農園借上料 80,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会と連携した町探検 ○ゲストティーチャーによるふるさと教育 ○「鳥の劇場」による演技指導 ○製菓培体験 <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演技指導謝礼 40,000円 ・農園借上料 80,000円
般上小	東伯中	赤崎中	
<ul style="list-style-type: none"> ○ふなのスランダー作成 (地元の行事を集約して紹介) ○新聞アプリを活用したNIE教育 ○ジョイント栽培農園見学 ○瞬間ボランティア ○製菓培体験 <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー謝礼 8,000円 ・印刷製本費 110,000円 ・新聞アプリ 48,840円 ・農園借上料 80,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域探訪・PR動画作成「ふるさとキャリア教育CMコンテスト」 ○CHA3プログラム (1年生と地域の大人、大学生とのトークプログラム) ○ゲストティーチャーによるふるさと教育 ○職場体験 (わくわく東伯) ○琴浦町への提言 ○地域ボランティア活動の充実 (独自の貢献認定書を発行) <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー謝礼 24,000円 ・わくわく東伯保険料 44,820円 	<ul style="list-style-type: none"> ○出かける赤中 (学校運営協議会と連携) ○演劇経験者による演技/合奏/照明/音響の指導 ○「鳥の劇場」によるコミュニケーション能力を高めるワークショップ ○ゲストティーチャーによるふるさと教育 ○職場体験 (ワクワク赤崎) ○地域探訪・PR動画作成「ふるさとキャリア教育CMコンテスト」 ○校内に広報紙スペースを常設 (地域行事の見える化) <p>【経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー謝礼 20,000円 ・演技、合奏、照明等指導謝礼 95,000円 ・ワークショップ謝礼 50,000円 ・ワクワク赤崎保険料 27,000円 	

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	256等	事業名	一般経常経費 (小学校)		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	114,248	0	0	995	47,400	65,853	日本スポーツ振興センター保護者負担金335 ふるさと未来夢基金繰入金300 体育館使用料360	過疎債47,400
前年度予算額	68,424	(比較：45,824)			前々年度決算額		83,932 (比較：30,316)	
トータルコスト	132,754	一般職人件費			2,944 (0.4人)		会計年度職員人件費 15,562 (5人)	

3 事業の概要

事業の目的(なんのために)	小学校の運営を円滑にするために全体に係る事業及び施設整備、環境整備を行う。			
前年度からの改善点等	年次計画に基づきトイレ洋式化、LED化等必要な整備を進める。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	年次計画に基づきトイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進める。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
小学校施設管理【改善】	学校施設の適切な維持管理を行う。 ・ 聖郷小学校屋根谷樋等取替工事 3,993千円 ・ 同上 設計・監理委託料 1,111千円 ・ 小学校(八橋・浦安・赤碓)トイレ洋式化工事 31,543千円 ・ 同上 設計・監理委託料 4,389千円 ・ 小学校(八橋・浦安・赤碓)LED化工事設計委託料 6,402千円 ・ 報償費(除雪) 400千円 ・ 光熱水費 8千円 ・ 小学校施設修繕料 3,842千円 ・ 手数料 2,476千円 ・ 火災保険料 1,006千円 ・ 学校管理委託料 3,515千円 (警備、芝、剪定、防虫、除草、除雪、伐採等) ・ 複合機、印刷機等リース料 1,566千円 ・ テレビ受信料 80千円	60,331	町債 47,400、町 12,931	八橋、浦安、赤碓小のトイレの一部洋式化を行う。 八橋、浦安、赤碓小のLED化設計を行う。
保健衛生関係	児童の健康診断実施及び学校環境衛生検査を実施する。 ・ 嘱託医報酬 1,916千円 ・ 消耗品費 317千円 ・ オージオメーター校正点検手数料 28千円 ・ 児童健康診断手数料(尿・心電図) 621千円 ・ スポーツ振興センター共済負担金 683千円 ・ 保健衛生関係借上料 128千円	3,693	その他(負担金) 335、町 3,358	
通学支援事業	通学が遠距離になる児童に対し、スクールバスの運行や通学援助による支援を行う。 ・ スクールバス運行管理業務委託料 10,842千円 ・ 大成地区通学援助費 140千円	10,982	単町	
八橋小学校	八橋小学校の維持管理及び環境整備を行う。 ・ 消耗品費 1,161千円 ・ 燃料費 27千円 ・ 印刷製本費 23千円 ・ 光熱水費 5,742千円 ・ 修繕料 130千円 ・ 通信運搬費 250千円 ・ 手数料 666千円 ・ 使用料 420千円 ・ 備品購入費 174千円	8,593	その他(使用料) 72、その他(ふるさと) 150、町 8,371	業者によるトイレ清掃を隔年から毎年実施に変更
浦安小学校	浦安小学校の維持管理及び環境整備を行う。 ・ 消耗品費 1,309千円 ・ 燃料費 138千円 ・ 光熱水費 5,256千円	8,377	その他(使用料) 72、町 8,305	業者によるトイレ清掃を隔年から毎年実施に変更

	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 130千円 ・通信運搬費 336千円 ・手数料 688千円 ・使用料 456千円 ・備品購入費 64千円 			
聖郷小学校	聖郷小学校の維持管理及び環境整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 982千円 ・燃料費 28千円 ・光熱水費 5,080千円 ・修繕料 130千円 ・通信運搬費 249千円 ・手数料 694千円 ・使用料 132千円 ・備品購入費 141千円 	7,436	その他（使用料）72、町7,364	業者によるトイレ清掃を隔年から毎年実施に変更
赤碕小学校	赤碕小学校の維持管理及び環境整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 1,144千円 ・燃料費 42千円 ・光熱水費 5,595千円 ・修繕料 130千円 ・通信運搬費 287千円 ・手数料 724千円 ・使用料 220千円 ・備品購入費 160千円 	8,302	その他（使用料）72、町8,230	業者によるトイレ清掃を隔年から毎年実施に変更
船上小学校	船上小学校の維持管理及び環境整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 1,068千円 ・燃料費 34千円 ・光熱水費 4,346千円 ・修繕料 130千円 ・通信運搬費 250千円 ・手数料 596千円 ・使用料 110千円 	6,534	その他（使用料）72、その他（ふるさと）150、町6,312	業者によるトイレ清掃を隔年から毎年実施に変更
	合計	114,248		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	262等	事業名	一般教育振興費（小学校）		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	16,333	1,043	0	2,864	3,000	9,426	教育振興費寄付金1 ふるさと未来夢基金繰入金2,300 聖郷小学校門脇教育図書購入基金繰入金174 赤崎中学校区小学校図書購入基金繰入金389	過疎債3,000
前年度予算額	23,249	(比較：△6,916)			前々年度決算額		42,393	(比較：△26,060)
トータルコスト	69,075	一般職人件費		7,360 (1人)			会計年度職員人件費 45,382 (19人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指す。			
前年度からの改善点等	就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を拡充する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	「琴浦Myスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取り組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成を進める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
就学援助等 【改善】	<p>経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者又は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学援助費 3,666千円 特別支援教育就学奨励費 764千円 	4,430	国382、町債3,000、町1,048	<ul style="list-style-type: none"> 就学援助費 新入学児童生徒学用品費の引上げ 57,060円→64,300円 (+7,240円) 特別支援教育就学奨励費 修学旅行費の引上げ 10,790円→15,190円 (+4,400円) 学校給食費の抜本的な負担軽減に伴い、保護者負担をゼロとするため、学校給食に関する費用を支援対象経費から除く。このことにより、前年度より予算額が減となる。
医療的ケア看護職員配置事業	<p>医療的ケアを必要とする児童への対応のため、看護職員の派遣を民間事業者へ委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護委託料 1,985千円 	1,985	国661、町1,324	
教育活動等助成	<p>教育振興のため各種補助金等による支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校外活動引率者旅費 3千円 修学旅行引率者補助金 94千円 バス借上料 732千円 負担金 8千円 備品購入費 1千円 	838	その他(ふるさと)700、その他(寄附金)1、町137	
文化芸術事業	<p>児童へ文化芸術を鑑賞する機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回公演委託料 522千円 	522	その他(ふるさと)500、町22	
八橋小学校	<p>児童及び教職員に対して講演会や研修を実施する。学習に係る備品、消耗品等を購入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償金 20千円 消耗品 585千円 消耗品費 64千円(通級指導教室) 修繕料 110千円 手数料 394千円 備品購入費 43千円 図書購入費 355千円 	1,571	その他(ふるさと)300、町1,271	
浦安小学校	<p>児童及び教職員に対して講演会や研修を実施する。学習に係る備品、消耗品等を購入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償金 204千円 消耗品費 718千円 	2,306	その他(ふるさと)400、町1,906	

	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 121千円 ・手数料 568千円 ・備品購入費 218千円 ・図書購入費 477千円 							
聖郷小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施する。 学習に係る備品、消耗品等を購入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 63千円 ・消耗品 433千円 ・修繕料 98千円 ・手数料 247千円 ・備品購入費 40千円 ・図書購入費 210千円 	1,091	その他（聖郷図書） 174、町917					
赤碕小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施する。 学習に係る備品、消耗品等を購入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・報償金 275千円 ・消耗品費 574千円 ・修繕料 114千円 ・手数料 435千円 ・備品購入費 152千円 ・図書購入費 366千円 	1,916	その他（赤碕図書） 226、その他（ふるさと）150、 町1,540					
船上小学校	児童及び教職員に対して講演会や研修を実施する。 学習に係る備品、消耗品等を購入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・報償金 210千円 ・消耗品費 502千円 ・修繕料 104千円 ・手数料 308千円 ・備品購入費 269千円 ・図書購入費 281千円 	1,674	その他（赤碕図書） 163、その他（ふるさと）250、 町1,261					
合計		16,333						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
学校に行くのが楽しいと回答する児童の割合（小6：全国学調）	令和6年度	77.2%		目標値	85%	85%	85%	85%
				実績値	77.2%	80.1%	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	277等	事業名	一般経常経費（中学校）		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	47,066	0	0	1,168	11,900	33,998	日本スポーツ振興センター保護者負担金184 ふるさと未来夢基金繰入金750 体育館使用料234	過疎債11,900
前年度予算額	80,531	(比較：△33,465)			前々年度決算額		33,192	(比較：13,874)
トータルコスト	56,236	一般職人件費		2,944 (0.4人)		会計年度職員人件費		6,226 (2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	中学校の運営を円滑にするために全体に係る事業及び施設整備、環境整備を行う。			
前年度からの 改善点等	年次計画に基づき、空調、トイレ洋式化、LED化等必要な整備を進める。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	年次計画に基づき、空調、トイレ洋式化、LED化の施設設備の整備を行うとともに、適切な維持管理を進める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
中学校施設 管理 【改善】	学校施設の適切な維持管理を行う。 ・東伯中学校昇降機前防煙スクリーン修繕工事 10,879千円 ・同上 設計・監理委託料 1,056千円 ・中学校体育館空調基本計画策定委託業務 2,200千円 ・中学校施設修繕料 1,575千円 ・手数料 1,296千円 ・火災保険料 780千円 ・学校施設管理委託料 2,571千円 (警備、エレベーター保守、芝、剪定、防虫、除草、清掃、除雪等) ・複合機、印刷機等リース料 520千円 ・テレビ受信料 31千円	20,908	町債 11,900、町 9,008	東伯・赤碓中学校の体育館に空調設備を新設するための基本計画を策定する。
保健衛生事 業	生徒の健康診断実施や学校環境衛生検査を実施する。 ・嘱託医報酬 724千円 ・消耗品費 82千円 ・生徒健康診断(尿・心電図) 339千円 ・オージオメーター校正点検手数料 24千円 ・スポーツ振興センター共済負担金 374千円 ・保健衛生関係借上料 25千円	1,568	その他(負 担金) 184、町 1,384	
通学支援事 業	通学が遠距離になる生徒に対し、町営バス補助金等による支援を行う。 ・遠距離通学補助金 1,556千円 ・スクールバス臨時運行業務委託料 130千円	1,686	単町	
共同学校事 務室	東伯中学校内に共同学校事務室を設置することで、学校事務の平準化、業務処理の効率化及び適正化を図り、教職員の負担軽減に繋げる。 また、共同作業によるOJTで事務職員の育成を図る。 ・消耗品費 76千円 ・印刷製本費 155千円 ・通信運搬費 11千円 ・筆耕料 143千円 ・学校徴収金システム等使用料 410千円	795	単町	
東伯中学校	東伯中学校の維持管理及び環境整備を行う。 ・消耗品 1,402千円 ・燃料費 80千円 ・印刷製本費 24千円 ・光熱水費 8,655千円 ・修繕料 150千円 ・通信運搬費 429千円 ・手数料 783千円 ・使用料 253千円 ・備品購入費 561千円	12,337	その他(使 用料) 117、その 他(ふるさ と)500、 町11,720	業者によるトイレ清掃を隔年から毎年実施に変更

赤碓中学校	赤碓中学校の維持管理及び環境整備を行う。 ・消耗品費 1,168千円 ・燃料費 90千円 ・印刷製本費 55千円 ・光熱水費 6,733千円 ・修繕料 150千円 ・通信運搬費 338千円 ・手数料 682千円 ・使用料 273千円 ・備品購入費 283千円	9,772	その他（使用料） 117、その他（ふるさと）250、町9,405	業者によるトイレ清掃を隔年から毎年実施に変更
合計		47,066		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	280等	事業名	一般教育振興費 (中学校)		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	23,803	832	102	5,251	10,000	7,618	教育振興費寄付金1 ふるさと未来夢基金繰入金5,250	過疎債10,000
前年度予算額	32,708	(比較：△8,905)			前々年度決算額		25,758	(比較：△1,955)
トータルコスト	68,972	一般職人件費		7,360 (1人)			会計年度職員人件費	37,809 (22人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	教育振興のため、必要な環境整備その他の施策を講じる。							
前年度からの改善点等	就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を拡充する。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	「琴浦マスター☆」を浸透、発展させ、各校が地元の特徴を活かした取り組みを考え、実践していくことで、地域の将来を担う人材の育成を進める。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
就学援助等	経済的理由によって義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者又は特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対し支援を行う。 ・就学援助費 11,391千円 ・特別支援教育就学奨励費 1,001千円	12,392	国832、町債10,000、町1,560	・就学援助費 新入学児童生徒学用品費の引上げ 63,000円→81,000円 (+18,000円) ・特別支援教育就学奨励費 修学旅行費の引上げ 28,860円→32,700円 (+3,840円)				
部活動指導支援事業	地域の専門的指導者を外部指導者として部活動に派遣する。 ・部活動外部指導者報償金 200千円 ・部活動指導員費用弁償 10千円 ・部活動外部指導者 3千円 ・保険料 4千円	217	県102、町115					
教育振興事業	教育振興のため各種補助金等による支援を行う。 ・修学旅行引率者補助金 288千円 ・大会派遣補助金 1,000千円 ・バス借上料 2,800千円 ・負担金 186千円 ・備品購入費 1千円	4,275	その他(ふるさと) 3,300、その他(寄附金) 1、町974					
東伯中学校	生徒及び教職員に対して講演会や研修会を実施する。学習に係る備品、消耗品等を購入する。 ・報償金 174千円 ・消耗品費 1,375千円 ・消耗品 40千円 (通級指導教室) ・修繕料 173千円 ・手数料 1,106千円 ・備品購入費 495千円 ・図書購入費 857千円	4,220	その他(ふるさと) 1,250、町2,970					
赤碓中学校	生徒及び教職員に対して講演会や研修会を実施する。学習に係る備品、消耗品等を購入する。 ・報償金 15千円 ・消耗品費 1,064千円 ・修繕料 147千円 ・手数料 718千円 ・備品購入費 209千円 ・図書購入費 546千円	2,699	その他(ふるさと) 700、町1,999					
合計		23,803						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
学校に行くのが楽しいと回答する生徒の割合 (中3：全国学調)	202年度	84.8%		目標値	85%	85%	85%	85%
				実績値	84.8%	86.1%	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	1651	事業名	中学校国際交流事業	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課		担当係	総務係		
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			④ グローバルな社会で活躍できる人材の育成		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	4,102	0	0	3,900	0	202	ふるさと未来夢基金繰入金3,900	
前年度予算額	2,440	(比較：1,662)			前々年度決算額		2,641	(比較：1,461)
トータルコスト	5,574	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費		0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	東伯・赤碓中学校と台中市立日南中学校との相互交流をとおして、異なる文化に触れることで国際理解を深める足がかりとする。							
前年度からの 改善点等	R8年度は、7月上旬に日南中学校の学生を受け入れ、同月下旬には12人の生徒が日南中学を訪問する。							
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	引き続き、相互交流事業により国際理解を深めるきっかけづくりを進める。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
中学生国際 交流事業 【改善】	東伯・赤碓中学校と台中市立日南国民中学校の生徒が相互に訪問し、ホームステイによる交流体験を行う。 【訪問】 日程 2026年7月29日(水)～8月2日(日) 4泊5日 人数 生徒12名、引率3名、通訳1名 【受入】 日程 2026年7月1日(水)～7月5日(日) 4泊5日 人数 生徒12名、引率4名、通訳1名(予定) ・謝礼(通訳、ホストファミリー) 772千円 ・引率者宿泊手当 30千円 ・旅行手配委託業務 2,280千円 ・消耗品費(お土産代等) 143千円 ・食糧費(歓迎夕食会等) 462千円 ・その他(手数料、保険料等) 415千円	4,102	その他(ふるさと) 3,900、町 202	令和8年度からは、7月での相互派遣を基本とする。				
	合計							
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
交流をとおして外国生活に興味を持つことができた生徒の割合(町アンケート)	令和6年度	87.9%	中学生国際交流事業	目標値	100%	100%	100%	100%
				実績値	89%	100%	-	-
交流をとおして英語等の外国語を学ぶことの大切さを感じた生徒の割合(町アンケート)	令和6年度	87.9%	中学生国際交流事業	目標値	100%	100%	100%	100%
				実績値	87.9%	100%	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	353	事業名	学校給食事業	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
担当課	教育総務課		担当係	学校給食センター		
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	4 給食センター運営費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり 重点事業 ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

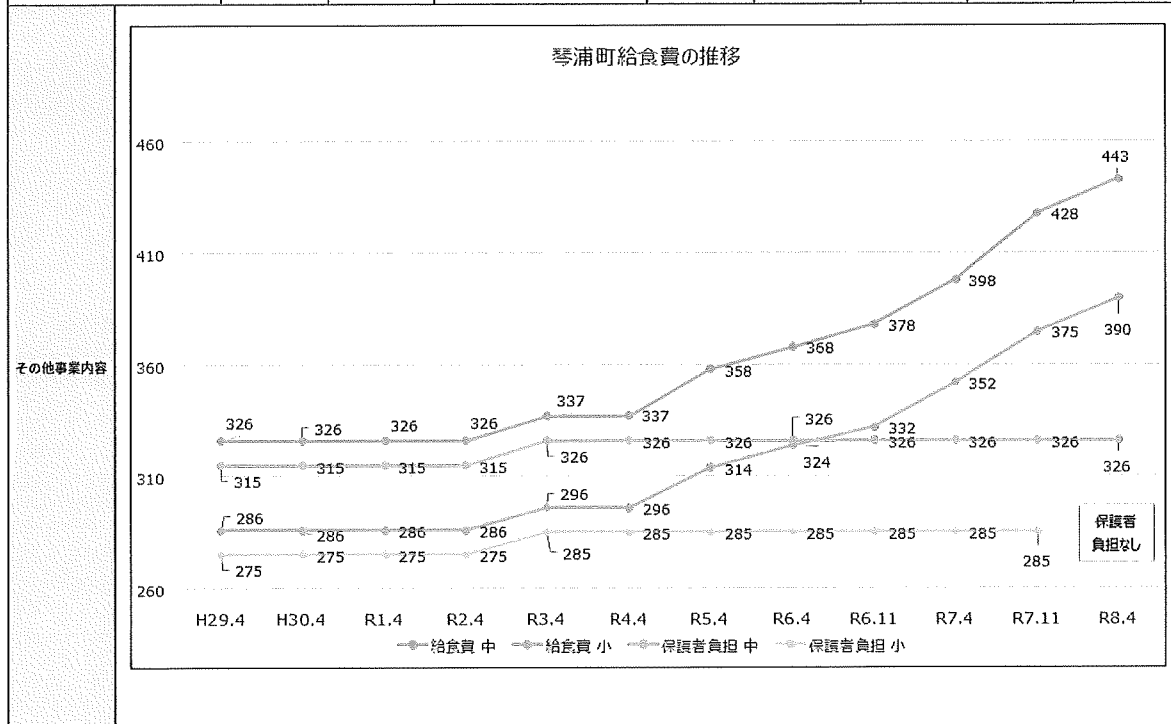
	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	224,907	8,300	41,756	51,715	34,000	89,136	学校給食費39,765 ふるさと未来夢基金繰入金11,950	過疎債34,000
前年度予算額	181,326	(比較：43,581)			前々年度決算額		225,162	(比較：△255)
トータルコスト	235,381	一般職人件費		7,360 (1人)			会計年度職員人件費	3,114 (1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	児童生徒の心身の健全な発達に資するよう、バランスのとれた栄養豊かな給食を提供する。学校給食を通じて日常生活での食事について正しい理解と望ましい食習慣を養うなど、「食を通して生きる力を育む」ことを目的に、教育の一環として実施する。			
前年度からの改善点等	物価高騰が続く中、給食の質を確保するため一食あたりの単価を見直す。なお、学校給食費の抜本的な負担軽減に伴い、小学生の保護者負担を0円とするとともに、中学生については物価高騰対策臨時交付金を活用して、保護者負担をR7年度から据え置くものとする。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	令和8年度からの給食調理業務、給食配送業務の委託契約について見直しを行い、安全な給食の安定提供に努める。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
学校給食用物資購入費 【改善】	安心安全な給食を町内各学校の児童生徒等に提供する。 ・給食用食材費 101,726千円 (対前年比 +6,665千円) 提供人数 1,337人 (小学生 730人、中学生 395人、教職員等 212人) 喫食数 185食/年	101,726	国8,300、 県41,756、 その他(給食費)39,765、 その他(ふるさと)11,000、 町905	・学校給食費単価を増額。 小学校：352円→390円(+38円) 中学校：398円→443円(+45円) ・保護者負担を小学生は無償、中学生は据え置きとする。 小学生：0円/食 中学生：326円/食
調理、配送業務委託料 【改善】	調理および配送業務を専門業者に委託する。 ・調理業務等委託料 53,966千円 委託内容：副食調理、配缶、食材検収保管、食器食缶・調理機器洗浄消毒等、調理機器保守点検 委託期間：令和8年度～令和12年度 契約金額：269,830,000円 ・給食配送委託料 12,567千円 委託内容：各学校への給食の配送、車両の点検整備等 委託期間：令和8年度～令和12年度 契約金額：63,880,059円	66,533	単町	調理業務等の委託内容に、新たに調理機器保守点検業務を追加する。
施設設備の更新 【改善】	平成21年度の完成から16年経過し、施設や各種機器の老朽化が進んでいるため、更新計画に沿って更新を進めていく。 ・給食配送用コンテナ(5台)更新 6,897千円 ・冷蔵庫・冷凍庫更新 3,208千円 (食品庫、野菜下処理室、コンテナプール) ・学校給食センター照明器具取替工事 22,000千円 ・同上 監理委託料 2,024千円	34,129	町債 34,000、 町129	2027年に蛍光灯の生産が終了することから、給食センター内の照明器具をLEDへ取替を行う。
食育推進事業	学校給食をとおした琴浦町のふるさと教育を実践する。 琴浦町産の食材をふんだんに使った給食を「琴浦Myスター☆給食」として年3回実施する。 ・追加食材費 960千円 給食センターの調理機器を使用した大量調理の体験会を夏休み期間に実施する。 ・食材費 50千円	1,010	その他(ふるさと)950、 町60	
学校給食センター管理運営	学校給食センターの施設設備等の管理運営を継続して行う。 ・学校給食運営審議会委員報償金 8千円 ・施設保守管理委託料 1,731千円 (消防、電気、警備、害虫防除、空調設備等) ・施設管理消耗品 389千円	21,509	単町	

<ul style="list-style-type: none"> 給食用食器等補充 1,227千円 (椀200個、皿100枚、食器カゴ40個) 下水道使用料 1,273千円 調理設備修繕料 334千円 燃料費、光熱水費 14,418千円 汚泥運搬、検査等手数料 1,698千円 火災保険料 96千円 通信運搬費 144千円 公用車リース料 176千円 自動車保険料 15千円 			
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

合計				224,907				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
給食費回収率	令和6年度	100%	学校給食用物資購入費	目標値	100%	100%	100%	100%
				実績値	100%	-	-	-
給食実施率	令和6年度	100%	学校給食センター管理運営	目標値	100%	100%	100%	100%
				実績値	100%	-	-	-



～共に学び、心身を育み、ふるさとを愛し地域を活かす社会教育～

R8年度 社会教育課ミッション

1.生涯にわたる学びの推進

○生涯学習の推進

- ・時代のニーズを踏まえまたなタン教養講座〔200千円〕
- 【新】まなタン子どもまつり、自然を生かした体験事業
- ・社会教育団体の活動支援〔266千円〕

○子ども体験やふるさと教育の拡充〔1,431千円〕

小中学生の体験活動やふるさとを学ぶ場、居場所づくりに取り組みふるさと愛を育みます。

- ・琴浦こども塾、子どもパーク、放課後子ども教室など

○生涯学習センターの施設整備（老朽化等による設備更新・修繕）

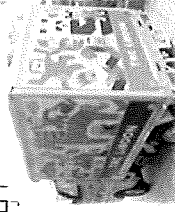
- 【新】空調中央監視装置〔4,400千円〕照明LED化〔122,507千円〕稼働椅子制御装置〔2,854千円〕図書館カーテン〔650千円〕

3.図書館サービスの充実

○自立した学習を支援する図書館サービスの充実

子ども読書活動推進と、誰でも使いやすい図書館サービスの充実を図ります。移動図書館車を導入し、広く本を手に取り選ぶ楽しさを届け、読書活動を推進します。

- 【新】地域に本を届ける移動図書館車の導入〔6,069千円〕
- ・図書館システム保守等更新〔8,894千円〕
- ・図書費（本館・分館）〔5,700千円〕
- ・サピエ図書館、木のおもちゃ、ブックスタート絵本



5.心身の健康増進を図るスポーツ振興と環境整備

○東伯総合公園人工芝グラウンド供用開始

夜間照明を備えた人工芝グラウンドがオープンします（7月）環境対策を意識した管理作業を実施すると共に、利用者の協力も得ながら適切な維持管理に努めます。またイベント開催時の人工芝保護を検討します。

- 【新】こけら落としイベント委託〔1,000千円〕サッカー場備品（テント、折りたたみベンチ、ウエイト等）〔1,839千円〕
- 【R7繰越】観覧席改修〔12,000千円〕



2.地区それぞれ社会教育や地域づくりの推進

○9地区それぞれの社会教育と地域づくり活動の推進

地区ごとの実情に応じた「学び、つながる」社会教育活動の充実と、住民主体による地域振興や地域課題の解決など、地域づくりの基盤をつくります。また子どもや高齢者の居場所づくりにも取り組みます。

- ・9地区各公民館の活動及び施設管理

○地区ごとの活動拠点の整備

【継】以西地域交流センター（旧以西小学校）開所

改修を終えた拠点施設への移転オープン

【新】古布庄地区活動拠点の改修設計〔18,920千円〕

旧古布庄保育園「森の楽園」を地域のコミュニティ活動の拠点として改修するための詳細設計を行います。

4.豊かな情操を育む文化芸術振興と文化財の保存活用

○町民の文化芸術活動を支援

- ・文化芸術団体の発表や町民の芸術に触れる機会の提供〔2,223千円〕
- ・文化振興財団との協定を生かし、子ども等が芸術に触れる機会を提供〔350千円〕

○文化財の保存活用

- ・町内文化財の保護
- 文化財管理・草刈委託等〔3,215千円〕、出土遺物調査〔852千円〕
- ・国特別史跡斎尾廃寺跡発掘調査〔3,542千円〕
- 総括報告書作成に向けた発掘調査（再調査）と編成準備

○体力づくりと運動の拠点の維持管理と体育施設の整理に向けた検討

老朽化が進んでいる給排水設備を上水道・下水道に接続します。また施設の在り方検討に向けて、現状の整理と意見集約に取り組みます。

【新】東伯総合公園給排水管路布設工事〔40,986千円〕

・東伯総合公園、赤碓運動公園等の維持管理〔33,756千円〕

・総合体育館トランス更新〔8,725千円〕

○若年層や働き盛り世代の体力づくりと運動習慣の定着

- トレーニングルームやトレーナーの活用、スポーツ教室、スポーツ協会及びスポーツ少年団補助等〔15,501千円〕
- ・部活動の地域展開に向けた検討

(様式1)

令和8年度 事業体系図

所属名: 社会教育課

(単位:千円、人)

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続等の別	当初予算額	前年度 当初予算額	前々年度 決算額	一般職 人数	会計年度 職員人数
9 教育費	4 社会教育費	1 社会教育総務費	292	社会教育振興	継続	1,464	1,596	1,415	1.9	0.0
			303	青少年育成啓発事業	継続	152	90	45	0.3	0.0
			309	次世代ことうらっ子育み推進事業	継続	1,431	1,612	1,455	0.3	0.0
			587	無毒庵管理	継続	137	134	124	0.1	0.0
			小計			3,184	3,432	3,039	2.6	0.0
9 教育費	4 社会教育費	2 公民館費	320	一般管理	継続	1,710	1,677	1,692	0.5	0.0
			674	赤碓地区公民館事業	継続	1,593	1,684	1,614	0.3	1.2
			675	安田地区公民館事業	継続	1,753	2,133	170,847	0.3	2.5
			676	成美地区公民館事業	継続	2,022	2,262	1,801	0.3	2.0
			677	以西地区公民館事業	継続	2,704	2,898	2,562	0.3	2.0
			678	八橋地区公民館事業	継続	3,629	2,359	2,443	0.3	1.2
			679	浦安地区公民館事業	継続	7,958	8,253	7,476	0.3	1.2
			680	下郷地区公民館事業	継続	1,232	1,273	2,061	0.3	1.2
			681	上郷地区公民館事業	継続	1,477	1,706	1,596	0.3	2.0
			682	古布庄地区公民館事業	継続	20,189	1,575	1,382	0.3	2.3
			小計			44,267	25,820	193,474	3.2	15.6
9 教育費	4 社会教育費	3 文化財保護費	321	町内文化財保護事業	継続	4,067	4,648	2,738	1.6	0.0
			323	民俗資料館管理	継続	304	159	148	0.3	0.0
			322	文化財活用啓発事業	統合	0	72	0	0.0	0.0
			小計			4,371	4,879	2,886	1.9	0.0
9 教育費	4 社会教育費	4 埋蔵文化財発掘調査費	324	町内遺跡発掘調査事業	継続	3,542	2,030	2,406	0.9	0.0
			小計			3,542	2,030	2,406	0.9	0.0
9 教育費	4 社会教育費	5 生涯学習センター運営費	325	生涯学習センター管理費	継続	172,261	43,415	430,983	0.7	1.0
			小計			172,261	43,415	430,983	0.7	1.0
9 教育費	4 社会教育費	6 図書館費	329	図書館活動費	継続	26,405	18,814	19,640	4.0	6.0
			小計			26,405	18,814	19,640	4.0	6.0
9 教育費	4 社会教育費	7 文化芸術振興費	311	文化振興事業	継続	2,573	2,580	1,331	0.4	0.0
			小計			2,573	2,580	1,331	0.4	0.0
9 教育費	5 保健体育費	1 保健体育総務費	333	一般管理	統合	0	199	73	0.0	0.0
			小計			0	199	73	0.0	0.0
9 教育費	5 保健体育費	2 体育振興費	1483	スポーツ・運動推進事業	継続	15,501	13,255	15,599	0.6	0.3
			小計			15,501	13,255	15,599	0.6	0.3
9 教育費	5 保健体育費	3 体育施設費	349	社会体育利用施設管理	継続	3,454	3,454	2,489	0.2	0.2
			350	平岩記念会館管理運営	継続	1,277	1,515	1,292	0.1	0.2
			351	東伯総合公園管理事業	継続	20,321	23,078	19,760	0.7	1.6

			417	農業者トレーニングセンター運営	継続	2,181	2,733	2,189	0.2	0.1
			418	赤碓総合運動公園管理	継続	6,523	6,130	6,357	0.2	1.0
			1627	東伯総合公園改修事業	継続	49,711	357,810	161,800	0.3	0.0
				小計		83,467	394,720	193,887	1.7	3.1
				所属合計		355,571	509,144	863,318	16.0	26.0

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	292	事業名	社会教育振興		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習係				
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費				
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		⑤ 大人に対する学びの環境づくり				
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

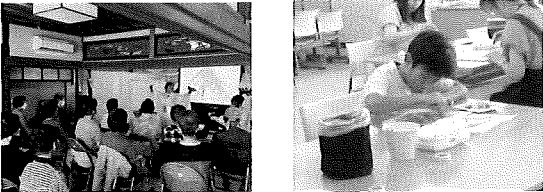
2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,464	0	0	0	0	1,464		
前年度予算額	1,596	(比較：△132)			前々年度決算額		1,415	(比較：49)
トータルコスト	15,448	一般職人件費		13,984 (1.9人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	「学びあい・高めあい『幸せ』感じるまちづくり」を推進。(社会教育における地方公共団体の任務〔学び・教え合いの奨励による住民自ら課題解決に向けて高め合う機運の醸成〕と生涯学習の理念〔豊かな人生〕のイメージの具現化を目指す。			
前年度からの改善点等	子ども～高齢者まで幅広い年齢層を対象とした教養講座の展開を行うとともに、講座回数や内容を見直し充実する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	社会教育団体の活動が継続・発展していけるよう、引き続き補助金交付・助言等による支援を行う。教養講座を定期的開催し、町民に生涯学習の機会を提供する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
一般管理	社会教育施設管理にかかる経費、公用車管理等。 ・消耗品費 196千円 ・燃料費 164千円 ・修繕費 20千円 ・手数料 357千円 ・自動車保険料 95千円 ・自動車重量税 15千円	847	単町	
社会教育委員報酬	社会教育施策全般について社会教育委員会を開催する。 メンバー：社会教育団体（婦人会、文化協会、PTA）の代表、学校長、スポ推、地域活動者など10名。 年2回開催。	40	単町	
各団体負担金	県社会教育協議会等負担金。	111	単町	
社会教育団体補助金	町連合婦人会補助金 町内でのこども食堂の実施、こども園等での食育普及活動、高齢化社会や環境浄化への対応、地域福祉の増進を図るために、会員研修や事業を実施する。 補助率10/10 200千円 町PTA連合会補助金 町内小中学校のPTA活動の共通問題の解決に向けての実践や会員相互の情報交換及び研修を実施。 補助率10/10 10千円	210	単町	
教養講座【改善】	まなびタウン教養講座、寿大学 町の生涯学習の拠点であるまなびタウン等において、生涯にわたりライフステージに応じた社会教育の推進のため、子どもから高齢者までを対象とした教養講座を開催する。 ・講師謝金 140千円 まなタン子どもまつり 子どもの居場所づくり、地域の多世代や文化人材と交流等を目的とし、まなびタウン全館を利用して、ものづくり・おやつ作り・茶道などの活動体験の場を提供する。 ・講師謝金 30千円 自然体験活動 子どもたちがふるさとの良さを知るため、ふるさとの資源を活かした体験活動を行う。 ・講師謝金 30千円	200	単町	講座の回数・内容を充実させる。
文化協会補助金	赤碓文化協会・東伯文化協会の町民文化祭や公民館祭等への出展、研修会や広報誌の発行などの活動のほか、団体や会員相互の交流など郷土文化の発展に寄与することを目的に支	56	単町	

援。 補助率 10/10。								
合計				1,464				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
講座の開催回数	令和5年度	5回	教養講座	目標値	5回	5回	7回	-
				実績値	3回	-	-	-
事業回数	令和5年度	4回	文化協会補助金	目標値	4回	4回	4回	-
				実績値	4回	-	-	-
研修・事業回数	令和5年度	36回	社会教育団体補助金	目標値	36回	36回	36回	36回
				実績値	35回	-	-	-
その他事業内容	教養講座の様子							
								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	303	事業名	青少年育成啓発事業	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習係		
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり		① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	152	0	0	11	0	141	全国子ども会安全共済会 市町村事務費 1 県子ども会育成連絡協議 会助成金 10	
前年度予算額	90 (比較：62)				前々年度決算額	45 (比較：107)		
トータルコスト	2,360	一般職人件費		2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費		0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	青少年の自主的な地域活動の促進と、地域における青少年の健全育成を実現するため、青少年健全育成協議会と子ども会、中高校生サークル活動の支援を行う。							
前年度からの 改善点等	青少年の自主的な活動促進と居場所づくりのため、町内中高校生にチラシやホームページなどでサークルへの加入を図る。中高校生がやりたいことを自分で考え実践し、ゆくゆくは町事業や地域で活動の場の展開し、県外に出てふるさとを誇りに思い地域貢献できる人材を育てる。							
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	少人数により活動が出来ない子ども会に対して、活動状況の聞き取りや、少人数でも活動ができる提案や支援に取り組む。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
中高校生サークル活動 【新規】	青少年が自主的に地域や社会に参画する活動を実施するきっかけづくりとして、サークルの立ち上げや活動・運営にかかる支援を行う。 報償金(講師謝金) 15千円 消耗品費 20千円 通信運搬費(切手代) 11千円			46	単町			
青少年健全育成協議会補助金	青少年健全育成関係団体及び個人により構成。連絡連携と事業を実施することにより青少年健全育成を推進する。 補助率 10/10 補助金60千円			60	単町			
子ども会活動支援事業	子ども会リーダーと育成者対象の研修会を開催すると共に、子どもが主体の子ども会運営の情報提供を行う。単位子ども会が成立しないところについては、助言・相談を行ったり、地区公民館単位での交流会等の実施につなげる。 講師謝金 30千円 消耗品 15千円 手数料(保険加入) 1千円			46	その他11町35			
合計				152				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
子ども会リーダー研修会参加者数	令和6年度	30人	子ども会活動支援事業	目標値	30人	30人	30人	-
				実績値	25人	-	-	-
中高校生サークル会員数	-	5人	中高校生サークル活動	目標値	-	-	5人	-
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>高校生あいさつ・交通マナー運動</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>子ども会リーダー研修会</p>  </div> </div>							

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	309	事業名	次世代ことうらっ子育み推進事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,431	0	965	0	0	466		
前年度予算額	1,612	(比較：△181)			前々年度決算額		1,455	(比較：△24)
トータルコスト	3,639	一般職人件費		2,208 (0.3人)			会計年度職員人件費	0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	体験教室を通じた世代間交流や、ふるさとの自然や歴史の学びを通して、子どもの心身・想像力・生きる力、ふるさとを愛する心を育てる。 地域住民の参画を得て、子どもたちの学校以外の居場所を確保し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			
前年度からの 改善点等	○こども塾で学んだ塾生を、中学生や高校生のジュニアリーダーとして自主的に活動できる人材育成に繋げる。10周年を迎えるため今後のこども塾について方向性を検討する。 ○子どもパークは、参加者のアンケートや運営委員の意見等を元に、教室内容を精査する。 ○放課後子ども教室：みちくさクラブ(成美)の開催回数を第2・4水曜日に変更する。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○例年同じ内容だと参加者も固定化するため、多くの人が参加、経験できるよう実施内容を検討する。 ○放課後子ども教室を他地区に広めることを進める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
家庭教育講座	乳幼児期・児童期の子どもを持つ保護者を対象とした家庭教育講座を開催し、子育ての支援を行う。 回数 小中学校5回、支援センター・公民館4回 内訳 講師謝金(小中学校)12,000円×5回、 (支援センター・公民館)10,000円×4回、 消耗品費2,000円×9回	118	県2/3、町1/3	
ことうら子どもパーク	ものづくり体験教室を通して、子どもの想像力・生きる力・科学や技術を学ぼうとする力を育成。 回数 年15回程度。ことうら子どもパーク運営委員会へ委託。 内容 工作、手芸、調理、実験等。 対象 小学生	561	県2/3、町1/3	
放課後子ども教室	放課後等に地域住民の見守りのもと、子どもが安心して活動できる場を提供する。地区公民館で学習や遊びなどを通して地域住民との交流を図る。 〔成美地区公民館〕みちくさクラブ 第2、4水曜日の放課後 5月～3月 (長期休暇、祝祭日は休み) 〔赤碓地区公民館〕水曜よりみちくさクラブ 第1、3、5水曜日の放課後 5月～3月 (長期休暇、祝祭日は休み) ・報償金(支援員等) 302千円 ・消耗品費 40千円	342	県2/3、町1/3	○成美地区公民館の開催日を毎週水曜日から第2、4水曜日の開催に変更する。
琴浦こども塾	先人の生き方や教えに学びながら、地域の歴史・文化を通じた体験活動により、人間力・実行力のある人材を育成する。 回数 17回程度。琴浦子ども塾運営委員会に委託。 内容 先人の生き方や教えの学び、茶道、地域学習等。 対象 小学4年生～中学1年生 委託料 410千円	410	県2/3、町1/3	
合計		1,431		

指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年間参加数平均人数	平成30年度	16人	ことうら子どもパーク	目標値	16人	16人	16人	-
				実績値	12人	-	-	-
事業開催の地区公民館数	令和6年度	2箇所	放課後子ども教室	目標値	3箇所	3箇所	3箇所	-
				実績値	2箇所	2箇所	-	-
参加者数	-	20人	琴浦こども塾	目標値	20人	20人	20人	-
				実績値	21人	14人	-	-
講座回数	-	9回	家庭教育講座	目標値	9回	9回	9回	-
				実績値	3回	-	-	-
その他事業内容	琴浦こども塾		ことうら子どもパーク					
	「ハマナスの取り組み講座」		「弁当づくり」					
								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	587	事業名	無盡庵管理		事業区分	□新規 ■継続			
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係					
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費			
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				◎ 歴史文化資源の活用と継承				
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開							

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	137	0	0	0	0	137		
前年度予算額	134	(比較：3)			前々年度決算額		124	(比較：13)
トータルコスト	873	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費 0 (0人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地域住民の交流施設「無盡庵」として親しまれている旧桐谷家住宅の維持管理を行う。							
前年度からの 改善点等								
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○地域の方々の活動拠点となるよう維持管理を行う。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
維持管理事業	消耗品費 3千円			137	単町			
	光熱水費 82千円							
	建物災害共済保険料 7千円							
	清掃委託料 18千円							
	下水道使用料 27千円							
	合計			137				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
施設点検回数	令和6年度	12回	維持管理事業	目標値	12回	12回	12回	12回
				実績値	12回	-	-	-
その他事業内容	地域の方々の活動拠点となるよう維持管理を行う。							

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	320	事業名	一般管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,710	0	0	2	0	1,708	各地区公民館コピー代 2	
前年度予算額	1,677	(比較：33)			前々年度決算額		1,692	(比較：18)
トータルコスト	5,390	一般職人件費		3,680 (0.5人)			会計年度職員人件費	0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	各地区内自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民自らが実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図る。また、地域の課題とその対応について学習し、その成果を地域づくりの実践につなげる。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
9地区公民館施設修繕にかかる経費	9地区公民館において随時発生した修繕に対応する。	500	その他2町498	
9地区公民館清掃作業にかかる経費	各地区公民館のトイレ・館内清掃 9館×12月×2,600円＝280,800円	281	単町	
9地区公民館保険料	「公民館総合補償制度」(行事傷害補償制度M型)への9地区分の掛金。	774	単町	
除雪機保険にかかる経費	除雪機保険(下郷・古布庄・以西) 10,730円×3台＝32,190円	33	単町	
公民館管理にかかる手数料	上郷地区公民館の雨樋清掃の手数料	44	単町	
公民館にかかる植木等管理委託料	公民館の植木剪定、除草剤散布委託料 15,500円×5地区＝77,500円	78	単町	
	合計	1,710		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	674	事業名	赤碕地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

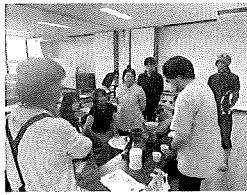
	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,593	0	0	46	0	1,547	公民館使用料 46	
前年度予算額	1,684	(比較：△91)			前々年度決算額		1,614	(比較：△21)
トータルコスト	9,027	一般職人件費		2,208 (0.3人)			会計年度職員人件費	5,226 (1.2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	赤碕地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。							
前年度からの改善点等	7年度に実施していたスポーツ大会（グラウンドゴルフ交流会・ソフトボール大会・卓球大会）に加えて、だれもが参加できるニュースポーツ（モルック・ポッチャなど）を実施する。 公民館利用者の年代の偏りを無くし、幅広い世代に活躍してもらえる公民館を目指す。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	①幅広い年齢層の方たちがともに交流できる居場所作りのための事業をすすめる。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに住民参加型の運営体制を検討していく。							
細事業等	内容		予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点			
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人		222	単町				
公民館活動にかかる経費	公民館活動における社会体育活動や、高齢者・青少年・成人・女性学級等にかかる経費。 スポーツ関連（グラウンド・ゴルフ交流会、盆ソフトボール大会、運動会、卓球大会）、文化事業（公民館祭）、高齢者事業（わくわく元気スタジオ、スマホ相談会）、子ども事業（機織り、星を見る会）、物づくり（フラワーアレンジメント、寄せ植え教室）等を実施する。 ・報償費（講師謝金） 94千円 ・活動消耗品費 365千円 ・借上料（テントサウナ） 16千円		475	単町				
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理に関わる経費 ・燃料費 58千円 ・火災保険料 23千円 ・テレビ受信料 13千円 ・医薬材料費 2千円 ・下水道使用料 27千円 ・光熱水費 500千円 ・通信運搬費 119千円 ・消耗品 86千円 ・手数料（消防設備点検等） 68千円		896	その他46町850				
合計			1,593					
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公民館事業参加者数	平成30年度	2,749人	公民館活動にかかる経費	目標値	2,749人	2,749人	2,749人	-
				実績値	1,660人	-	-	-
公民館事業数	平成30年度	72回	公民館活動にかかる経費	目標値	72回	72回	72回	-
				実績値	35回	-	-	-

公民館事業（珈琲と手作りの時間・水曜よりみちクラブ）

その他事業内容



令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	675	事業名	安田地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習係				
予算区分	款 9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費		
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,753	0	0	162	0	1,591	公民館使用料 40 普通財産使用料 50 小学校体育館使用料 72	
前年度予算額	2,133	(比較：△380)			前々年度決算額		170,847	(比較：△169,094)
トータルコスト	15,205	一般職人件費		2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費		11,244 (2.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、安田地区公民館を設置し、公民館運営に関する審議及び適正な維持管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	本年度も継続して、安田地区公民館の運営に関する審議及び利用者が快適かつ、安全に使用できるよう維持管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	公民館運営の審議に要する経費	0		公民館の運営審議については、安田地域づくり協議会が行う
公民館管理 にかかる経 費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費・通信運搬費等 ・消耗品費 10千円 ・光熱水費 1,129千円 ・通信運搬費 71千円 ・手数料(味噌発酵機点検) 4千円 ・手数料(消防設備点検業務) 177千円 ・手数料(電気工作物保守点検業務) 226千円 ・火災保険料 96千円 ・下水道使用料 27千円 ・NHK受信料 13千円	1,753	その他162 町1,591	
	合計	1,753		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書

一般会計

1 基本情報

事業番号	676	事業名	成美地区公民館事業	事業区分	□新規 ■継続
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習係		
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 2 公民館費		
まちづくりビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり		① 町民に伝わる情報発信と情報共有		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,022	0	0	53	0	1,969	公民館使用料 25 公民館自動販売機電気代等 28	
前年度予算額	2,262	(比較：△240)			前々年度決算額		1,801	(比較：221)
トータルコスト	12,812	一般職人件費			2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費 8,582 (2人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	事業を通じて、地域の方が学び・体験・集える場所をつくる。 地域の方に講師をしていただき、住民同士のつながりを深める。							
前年度からの改善点等	公民館運営協議会と連携をとり、地域課題解決に向けて誰でも楽しく参加できる事業を企画運営する。 こども園との複合施設に伴い、乳幼児教室での交流を深めていく。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	①引き続き、成美地区にとって必要な取り組みを企画し実践していく。 ②助けあいのできる地域を目指して、組織などの運営体制を検討する。 ③地域の課題解決のために、「いまここ食堂」や「琴浦立子谷ふるさとプロジェクト」などの地域団体との連携を図る。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人			222	単町			
公民館活動にかかる経費	公民館活動にかかる経費 (運動会・公民館祭、小学生体験教室・ニュースポーツ大会、乳幼児教室等) ・報償金(講師謝金) 152千円 ・消耗品費 320千円 ・印刷製本費(写真印刷) 10千円 ・借上料(車借上) 5千円			487	単町			
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等をおこなう。 ・燃料費 23千円 ・テレビ受信料 13千円 ・医薬材料費 2千円 ・下水道使用料 29千円 ・光熱水費 1,047千円 ・通信運搬費 78千円 ・消耗品 121千円			1,313	その他53町1,260			
合計				2,022				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公民館事業参加人数	平成30年度	1,138人	公民館管理にかかる経費	目標値 実績値	1,138人 1,850人	1,138人	3,000人	-
公民館事業数	平成30年度	24回	公民館管理にかかる経費	目標値 実績値	24回 83回	24回	24回	-
その他事業内容	公民館事業 まちの保健室 いまこ乳幼児教室 							

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	677	事業名	以西地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習係				
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 2 公民館費				
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ⑤ 大人に対する学びの環境づくり						
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,704	0	0	793	0	1,911	公民館使用料 40 旧以西小学校体育館使用料 72 諸収入(自販機電気代等) 21 農業研修生宿泊施設使用料 660	
前年度予算額	2,898	(比較：△194)			前々年度決算額		2,562	(比較：142)
トータルコスト	13,815	一般職人件費		2,208 (0.3人)			会計年度職員人件費 8,903 (2人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、以西地区公民館を設置し、公民館運営に関する審議及び適正な維持管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	引き続き、安心安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営の審議に要する経費	0		公民館の運営審議については以西地区振興協議会が行う。
公民館運営管理にかかる経費	公民館と旧以西小学校の維持管理にかかる経費。 ・報償金(除雪作業) 24千円 ・消耗品費 10千円 ・燃料費(除雪機ガソリン等) 36千円 ・光熱水費 1,661千円 ・通信運搬費(電話代等) 121千円 ・手数料(味噌発酵機点検) 551千円 ・火災保険料 89千円 ・下水道使用料 199千円 ・NHK受信料 13千円	2,704	その他793 町 1,911	
	合計	2,704		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	678	事業名	八橋地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				◎ 大人に対する学びの環境づくり		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,629	0	0	19	0	3,610	公民館使用料 19	
前年度予算額	2,359	(比較：1,270)			前々年度決算額		2,443	(比較：1,186)
トータルコスト	11,126	一般職人件費		2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費		5,289 (1.2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	八橋地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。							
前年度からの改善点等	事業の内容・日程を見直す。スポーツ大会の卓球大会では年齢関係なく参加しやすい方法を検討する。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討する。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10名	222	単町					
公民館活動にかかる経費	各種事業（教養講座・スポーツ大会等）による経費。 主な事業：公民館まつり、八橋ぶらりウォーキング、スポーツ大会（グラウンド・ゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、卓球大会）、八橋キッズ（海で遊ぼう機遊び、料理教室）等。 ・報償金（講師謝金）97千円 ・消耗品費 338千円 ・借上料（車借上） 10千円	445	単町					
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費、通信運搬費等 ・燃料費 30千円 ・火災保険料 78千円 ・テレビ受信料 13千円 ・消防設備保守手数料 62千円 ・医薬材料費 2千円 ・下水使用料 27千円 ・光熱水費 761千円 ・通信運搬費 132千円 ・消耗品 162千円 ・備品購入費（調理室エアコン）617千円	1,884	その他19町 1,865	1階調理室の業務用エアコンが使用不可となったため、新たに家庭用エアコン1台を設置する。				
施設内修繕	施設の保全に係る工事に要する経費。 2階トイレ洋式化工事 1,078千円	1,078	単町	2階トイレを洋式化し、破損した小便器を撤去する工事を実施する。 施設利用の過半数以上が2階である現状を踏まえ、不具合を解消し、利便性を向上させるために必要な修繕工事として予算計上するもの。				
合計		3,629						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公民館事業参加者数	平成30年度	3,347人	公民館活動にかかる経費	目標値	3,347人	3,347人	3,347人	-
				実績値	1,100人	-	-	-
公民館事業数	平成30年度	20件	公民館活動にかかる経費	目標値	20件	20件	20件	-
				実績値	20件	-	-	-

公民館事業（ベビトレヨガ教室、第49回八橋地区公民館まつり）

その他事業内容



令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	679	事業名	浦安地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習係				
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 2 公民館費				
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

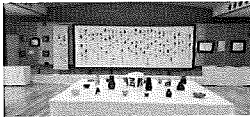
	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	7,958	0	0	3,276	0	4,682	公民館使用料 250 公民館使用料(社協使用分) 3,026	
前年度予算額	8,253	(比較：△295)			前々年度決算額		7,476	(比較：482)
トータルコスト	15,422	一般職人件費		2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費		5,256 (1.2人)

3 事業の概要

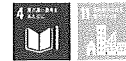
事業の目的 (なんのために)	地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合う様な環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。そして住民のみなさんが「つながりあい」「助けあい」「支えあい」、「安全・安心」な「くらしづくり」の機運が高まり広がる公民館活動を推進する。							
前年度からの改善点等	引き続き、高齢者の居場所づくりを行うと共に、普段から地域の防災・防犯意識を高め、大人から子供まで地域活動への参加意識を醸成し、地域との連携を深め、安全・安心な地域づくりを目指す。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討する。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町					
公民館活動にかかる経費	各種事業(教養講座、各種スポーツ大会等)にかかる経費。 主な事業：公民館まつり、総合スポーツ大会 そのほかの事業：健康麻雀教室、スマホ相談会、あつたかカフェたんぼぼ、そば打ち体験教室、琴浦Myスター給食試食体験会等。 ・報償金(講師謝金) 72千円 ・消耗品費 355千円 ・借上料(放送設備等) 21千円	448	単町	消防設備保守点検費と電気工作物保安管理費は、委託料から手数料に変更。				
公民館管理にかかる経費	公民館の維持運営にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等をおこなう。 ・手数料(消防設備点検、電気工作物保安管理等) 502千円 ・燃料費 35千円 ・火災保険料 185千円 ・テレビ受信料 13千円 ・昇降機管理委託料 792千円 ・清掃委託料(社協委託) 48千円 ・医薬材料費 2千円 ・下水使用料 396千円 ・光熱水費 4,800千円 ・通信運搬費 155千円 ・管理消耗品費 330千円	7,258	その他 3,276 町3,982					
浦安地区公民館駐車場負担金	浦安地区公民館駐車場負担金 30千円	30	単町					
合計		7,958						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公民館事業参加者数	平成30年度	1,928人	公民館活動にかかる経費	目標値	1,928人	1,928人	1,928人	1,928人
				実績値	1,652人	-	-	-
公民館事業数	平成30年度	36回	公民館活動にかかる経費	目標値	36回	36回	36回	36回
				実績値	49回	-	-	-

公民館事業（浦安地区公民館まつり、浦安地区総合スポーツ大会）

その他事業内容



令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	680	事業名	下郷地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				◎ 大人に対する学びの環境づくり		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,232	0	0	5	0	1,227	公民館使用料 5	
前年度予算額	1,273	(比較：△41)			前々年度決算額		2,061	(比較：△829)
トータルコスト	8,729	一般職人件費		2,208 (0.3人)			会計年度職員人件費	5,289 (1.2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	下郷地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。							
前年度からの改善点等	老若男女が楽しく参加できる「モルック」を取り入れ良かったので、今年度からスポーツ活動にモルック大会を追加した。各行事の開催日程を検討し参加者増加を図り地域住民の交流に繋げる。公民館事業のスクラップ&ビルドを進め、地域課題解決に向けて検討していく。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	今後も住民同士の交流ができる居場所づくりに繋がる事業を検討する。地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画運営し参加者増加を図る。							
細事業等	内容		予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点			
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人		222	単町				
公民館活動にかかる経費	公民館事業に係る経費。 主な事業：町民運動会、公民館まつり、教養講座、健康マージャン、女性教室、まちの保健室、せいごうキッズ等。 ・報償金(講師謝金) 100千円 ・消耗品 265千円 ・借上料(放送設備等) 23千円		388	単町				
公民館管理にかかる経費	公民館を維持管理する上で必要な経費。 ・火災保険料 54千円 ・医薬材料費 2千円 ・テレビ受信料 13千円 ・燃料費 22千円 ・下水使用料 30千円 ・消耗品 123千円 ・消防設備保守手数料 18千円 ・光熱水費 280千円 ・通信運搬費 80千円		622	その他5町617				
合計			1,232					
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公民館事業参加人数	平成30年度	1,691人	公民館活動にかかる経費	目標値	1,691人	1,691人	1,691人	1,691人
				実績値	1,648人	-	-	-
公民館事業数	平成30年度	30件	公民館活動にかかる経費	目標値	30件	30件	30件	30件
				実績値	37件	-	-	-
その他事業内容	公民館事業(下郷公民館まつり、下郷地区モルック大会)							

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	681	事業名	上郷地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,477	0	0	20	0	1,457	公民館使用料 20	
前年度予算額	1,706	(比較：△229)			前々年度決算額		1,596	(比較：△119)
トータルコスト	13,229	一般職人件費		2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費		9,544 (2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	上郷地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養向上・生活文化の振興等、地域課題の解決等を図る。							
前年度からの改善点等	去年に引き続き上郷・倉坂たすけあい交通の本格運行を支援していく。 上郷公民館広場に、地元住民と協力して移植した芝を活用する。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	地域課題や住民のニーズに応じた事業展開に努める。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 ・報酬 22,200円×10人			222	単町			
公民館活動にかかる経費	各種教室・スポーツ大会等に係る経費。主な事業、健康サロン、住民レクリエーション交流会、公民館まつり、教養講座、女性教室、せいごうキッズ等。 ・報償金(講師謝金) 108千円 ・消耗品費 155千円 ・借上料(車借上) 5千円			268	単町			
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理に係る経費 ・消耗品費 271千円 ・燃料費 21千円 ・光熱水費 291千円 ・医薬材料費 2千円 ・通信運搬費 108千円 ・手数料(モップ交換、木の伐採、消防施設保守) 223千円 ・火災保険料 31千円 ・下水使用料 27千円 ・テレビ受信料 13千円			987	その他20町967			
合計				1,477				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公民館事業参加者数	平成30年度	1,187人	公民館活動にかかる経費	目標値	1,187人	1,187人	1,187人	-
				実績値	1,399人	-	-	-
公民館事業数	平成30年度	23回	公民館活動にかかる経費	目標値	23回	23回	23回	-
				実績値	38回	-	-	-
その他事業内容	公民館事業(上郷地区公民館まつり、レクリエーション交流会) 							

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	20,189	9,460	0	5	9,400	1,324	公民館使用料 5	過疎債 9,400
前年度予算額	1,575	(比較：18,614)			前々年度決算額		1,382	(比較：18,807)
トータルコスト	32,902	一般職人件費		2,208 (0.3人)			会計年度職員人件費	10,505 (2.3人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、古布庄地区公民館を設置し、公民館運営に関する審議及び適正な維持管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	安心・安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	公民館運営の審議に要する経費	0		公民館の運営審議については古布庄まちづくり協議会が行う。
公民館管理 にかかる経 費	公民館の維持運営にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等を行う。 ・消耗品費 10千円 ・燃料費 28千円 ・光熱水費 600千円 ・通信運搬費 179千円 ・手数料(トイレ配管洗浄・浄化槽・鍵保管・消防設備点検) 284千円 ・火災保険料 83千円 ・浄化槽維持管理委託料 40千円 ・下水道使用料 32千円 ・NHK受信料 13千円	1,269	その他5 町 1,264	
旧古布庄保 育園改修工 事詳細設計 委託料 【新規】	旧古布庄保育園改修工事詳細設計委託料 18,920千円	18,920	国9,460、 町債 9,400、町 60	昨年度作成した旧古布庄保育園改修基本計画をもとに、改修工事に向けて今年度は詳細設計を委託する。
合計		20,189		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				◎ 歴史文化資源の活用と継承		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	4,067	56	0	0	0	4,011		
前年度予算額	4,648	(比較：△581)			前々年度決算額		2,738	(比較：1,329)
トータルコスト	15,843	一般職人件費		11,776 (1.6人)			会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内文化財を後世に継承するため、文化財の適切な保存管理を行うとともに、文化財の調査や公開、活用を行い、優れた郷土の歴史や文化を理解することで町民の郷土愛の醸成に資するほか、町外に本町の魅力を発信する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○人口減、高齢化等により、一部の地域で、これまで地域で取り組まれてきた文化財の保護活動に課題が生じてきている。今後の支援のあり方(拡充)など検討したい。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
町文化財保護審議会	町内文化財に関する会議を開催する。 委員10名(定員)×2回×2千円	40	単町	
町内文化財指導巡視員	毎月1回定期的に町内文化財の巡視を行う。 国・県指定2名×3回×4,600円、町指定2名×12回×4,600円。	138	単町	
伯耆の大シイ樹勢診断	伯耆の大シイ樹勢診断	25	単町	
指定文化財管理料	指定文化財の清掃等、地区や団体、所有者等による環境保全にかかる経費。 国指定：2件 県指定：13件 町指定：32件 未指定(移築古墳)：1件 手数料・委託料(清掃等) 435千円	435	単町	
指定文化財管理	町内にある指定文化財管理のため草刈り、除草等を実施する。 史跡等8件	1,467	国 56 町 1411	
無形民俗文化財補助金	三本杉盆踊り保存会、逢東盆踊り保存会、以西おどり保存会の保存伝承活動を支援する。 3団体×20千円	60	単町	
文化財保存保護・活用事業補助金 (河本家住宅公開活用事業)	河本家住宅の公開活用活動を支援する。 補助対象事業費1,000千円(1/2補助)	500	単町	
特別史跡齋尾廃寺出土遺物調査	特別史跡齋尾廃寺跡総括報告書の発刊にむけて町所蔵の齋尾廃寺跡出土遺物の調査、記録作業を行うほか、町外にある齋尾廃寺跡出土遺物についても調査を行う。 報償金(指導謝金・旅費) 852千円 旅費 101千円	953	単町	総括報告書刊行後、調査成果を公開(令和9年度予定)するための準備等も併せて実施。
文化財保存保護・活用事業補助金 (河本家住宅防災設備更新事業) 【新規】	河本家住宅の防災設備(自動火災報知機)更新事業を補助する。 補助対象事業費715千円(1/4補助)	179	単町	
文化財保存保護・活用事業補助金 (神崎神社)	神崎神社本殿の保存修理事業を補助する。 補助対象事業費143千円(1/4補助)	36	単町	

保存修理事業) 【新規】									
その他事務経費	全国史跡整備市町村分担金等			234	単町				
合計				4,067					
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
開催数	-	-		目標値	-	-	-	-	
				実績値	-	-	-	-	
巡視回数	平成16年度	30回	町内文化財指導巡視員	目標値	30回	30回	30回	-	
				実績値	24回	-	-	-	
点検数	令和2年度	1回	伯耆の大シイ樹勢診断	目標値	1回	1回	1回	-	
				実績値	1回	-	-	-	
指定文化財件数	平成30年度	64件	指定文化財管理料	目標値	64件	64件	64件	-	
				実績値	64件	-	-	-	
調査件数	令和4年度	5回	特別史跡齋尾廃寺出土遺物調査	目標値	1回	1回	5回	-	
				実績値	-	-	-	-	
管理遺跡数	平成29年度	8件	指定文化財管理	目標値	8件	8件	8件	-	
				実績値	8件	-	-	-	
見学者数	令和3年度	2,000人	文化財保存保護・活用事業補助金（河本家住宅公開活用事業）	目標値	1,000人	1,000人	2,000人	-	
				実績値	2,623人	-	-	-	
無形民俗文化財保護団体数	平成16年度	3件	無形民俗文化財補助金	目標値	3件	3件	3件	-	
				実績値	3件	-	-	-	
その他事業内容	齋尾廃寺跡再調査・整備スケジュール								
		R3~7	R8	R9	R10	R11	R12~	備考	
	再調査	—	—					昭和末~平成初に実施した調査の再調査。国の補助事業で実施しているため、事業費により期間延長もあり得る。	
	総括報告書		—	—					
	整備にかかる調査				—	—		発掘調査の成果が少ないことから、期間延長もあり得る。	
	整備計画				—	—			
整備（設計・工事）						—			

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	323	事業名	民俗資料館管理	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	304	0	0	0	0	304		
前年度予算額	159	(比較：145)			前々年度決算額		148	(比較：156)
トータルコスト	2,512	一般職人件費		2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費		0 (0人)

3 事業の概要

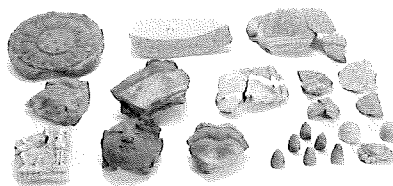
事業の目的 (なんのために)	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集保管を行い、町施設での展示や学校の体験学習に活用し、町民が地域の歴史文化に触れられる機会を提供する。
前年度からの改善点等	引き続き町民が地域の歴史文化に触れられるよう、展示資料、体験用資料を充実させる。
前年度評価で整理した取り組みの内容	〇小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示のあり方、内容等の検討をする。

細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
歴史民俗資料館運営費	歴史民俗資料館の、鑑賞環境の提供、及び利用促進のため、展示方法の改善・充実を図るほか、町内文化財のパンフレット、チラシの配架も進める。 消耗品(展示備品) 40千円 印刷製本費(特別史跡斎尾廃寺跡パンフレット) 97千円 使用料(チラシ作成用グラフィックデザインソフト) 165千円 県ミュージアムネットワーク負担金 2千円	304	単町	文化財活用啓発事業と統合				
合計		304						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入館者人数	令和6年度	200人	歴史民俗資料館運営費	目標値	200人	200人	200人	-
				実績値	172人	96人	-	-

その他事業内容

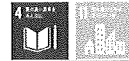


小学校の学習



現在調査を進めている斎尾廃寺跡出土遺物も追加展示

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	324	事業名	町内遺跡発掘調査事業	事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	4 埋蔵文化財発掘調査費	
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,542	1,768	884	0	0	890		
前年度予算額	2,030	(比較：1,512)			前々年度決算額		2,406	(比較：1,136)
トータルコスト	10,166	一般職人件費		6,624 (0.9人)			会計年度職員人件費 (0人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内埋蔵文化財の保存と活用を図る。							
前年度からの 改善点等								
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○特別史跡齋尾廃寺跡について、町内外へ更なる情報発信、普及啓発のため、発掘作業を随時公開し、ホームページ等で進捗状況を適時発信する。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
町内遺跡試掘調査事業 【新規】	ため池改修工事の計画のため、松ヶ丘地内にある遺跡の試掘調査を実施する。 需用費(消耗品、燃料費、印刷製本費) 72千円 役務費(汲み取り料) 7千円 作業員派遣委託料 402千円 借上料(トータルステーション、仮設トイレ) 110千円	591	国 1/2 県 1/4 町 1/4					
国特別史跡齋尾廃寺跡発掘調査事業	・史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、齋尾廃寺跡の発掘調査を実施する。 報償金(委員会報償金) 190千円 費用弁償(文化庁旅費) 20千円 需用費(消耗品、燃料費、印刷製本費) 74千円 作業員派遣委託料 447千円 自然科学分析委託料 262千円 遺物実測・写真撮影業務委託 1,908千円 借上料(トータルステーション、小型発電機) 50千円	2,951	国1/2 県 1/4 町1/4					
合計		3,542						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
史跡保護に向けた適切な埋蔵文化財調査	令和6年度	-	国特別史跡齋尾廃寺跡発掘調査事業	目標値	256.5㎡	111.22㎡	84㎡	-
				実績値	205㎡	67.22㎡	-	-
試掘遺跡数	令和8年度	1件		目標値	-	-	-	-
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習センター管理室			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	5 生涯学習センター運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			② 誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	172,261	0	0	1,762	123,800	46,699	生涯学習センター利用料 1,200 駅南駐車場利用料 382 コピー代等 180	過疎債 123,800
前年度予算額	43,415	(比較：128,846)			前々年度決算額		430,983	(比較：△258,722)
トータルコスト	180,793	一般職人件費		5,152 (0.7人)		会計年度職員人件費		3,380 (1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	子どもから高齢者まですべての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に行う。 また、蛍光灯の製造輸入販売が停止となるため、照明をLEDに更新し、利用環境の向上と環境負荷軽減を行う。							
前年度からの改善点等	法定点検結果、設備の標準耐用年数を考慮し、突発的な不具合により施設利用に支障が及ばないように配慮した。また、照明をLEDに更新することで、光熱水費の削減を図る。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	今後修繕が必要となる箇所をリスト化し、概算工事費の算出を進め、緊急性、老朽化の進行性を考慮し、効率的な修繕を行う。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
生涯学習センター管理費 【改善】	安心安全で快適な社会教育の場を提供するため、生涯学習センターの維持管理を行う。また、老朽化した設備の修繕を行い、利用者が安心安全に施設を利用できるようにする。 ・管理費 40,031千円 ・外壁修繕 754千円 ・水回り修繕 323千円 ・多目的ホール可動椅子設備更新 2,854千円 ・地下機械室配管修繕 742千円 ・中央監視装置更新 4,400千円 ・図書館カーテン更新 650千円			49,754	町債7,000 その他1,762 町40,992	老朽化した施設を適正に管理し来館者の安全を守るため、施設修繕を行う。		
生涯学習センター照明 改修事業 【新規】	生涯学習センター内の照明をLEDに更新する。また、LEDに更新することで、光熱水費の削減を行い、環境負荷を軽減する。 ・工事費 117,618千円 ・監理費等 4,889千円			122,507	町債116,800 町5,707	新規事業		
合計				172,261				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
前年度までに法定点検で指摘された項目の是正	令和7年度	2箇所	生涯学習センター管理費	目標値	-	5箇所	5箇所	-
				実績値	-	2箇所	-	-
LED照明の導入率(延床面積比)	令和7年度	0.9%	生涯学習センター照明改修事業	目標値	-	100%	100%	-
				実績値	-	0.9%	-	-
その他事業内容	全ての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に実施する。							

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	329	事業名	図書館活動費	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	琴浦町図書館		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	6 図書館費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	26,405	0	0	12,268	0	14,137	コミュニティ助成金 5,700 コピー代 8 ふるさと未来夢基金繰入金 6,550 平岩教育・福祉振興基金繰入金 10	
前年度予算額	18,814	(比較：7,591)			前々年度決算額		19,640	(比較：6,765)
トータルコスト	75,456	一般職人件費			29,440 (4人)		会計年度職員人件費 19,611 (6人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報拠点として、町民が多様な資料や情報を取得し活用できるよう、図書館資料の充実と提供に努めるとともに、課題解決の場、生涯学習の場、居場所としての場を提供する。 小・中学校、こども園、公民館などと連携し、本に親しむ機会の提供や読書活動の推進を図る。 障がいの有無に関わらず、全ての町民が読書できる環境を整備する。 令和8年度は、町内を巡回する移動図書館車の整備を行い、来館が困難な方をはじめ、全ての町民に図書館サービスを提供する。 			
前年度からの改善点等	これまで以上におはなし会の内容を充実し、子どもが読書に親しむ機会を提供する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 多様化、高度化する利用者のニーズに合わせた資料を収集する。 第3次琴浦町子ども読書活動推進計画をもとに、子どもが読書に親しむ機会を提供し、自ら進んで読書活動を行うことができる環境整備を推進する。 読書に障がいのある方に利用しやすい様々な読書の方法を提供する。 高齢者等の交通弱者、障がいにより来館が困難な方、遠隔地に住んでいる方等、来館が困難な方をはじめ、全ての町民に図書館サービスを提供する。 			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
図書館システムの運用	図書館システム(京セラ ELCIELO)のリース料及び保守委託料(4月～11月) <ul style="list-style-type: none"> リース料 4,050千円 保守委託料 1,171千円 図書館システム更新(12月～3月) <ul style="list-style-type: none"> リース料 2,158千円 保守委託料 1,515千円 端末処分手数料 46千円 	8,940	単町	令和8年11月末に終了する図書館システムの更新を行う。
図書館ICタグシステムの運用	図書館ICタグシステムの保守委託料 <ul style="list-style-type: none"> 保守委託料 2,318千円 	2,318	単町	
図書館資料の整備、提供事業	住民ニーズに合わせた図書を整備するとともに、所蔵資料、郷土資料等を適正に分類・管理し提供する。 <ul style="list-style-type: none"> 図書、AV資料等購入費 5,700千円 新聞、雑誌購入費 1,108千円 図書館装備用消耗品費 304千円 図書装備手数料 66千円 書誌データ使用手数料 536千円 	7,714	その他 6,550 町 1,164	
人と本をつなげるきっかけづくり	こども園や小学校、高齢者施設等へ団体貸出を行い、本に親しむ機会を提供する。春秋の読書週間や夏休み等にあわせてイベントや講座を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ブックスタートの実施 297千円 各種イベント、講座の実施 38千円 音読会の推進 等 	335	単町	
木のおもちゃ普及事業	木育を推進するイベントを開催する。木のおもちゃの消毒や破損等の補修等を行い、安心・安全に提供する。 <ul style="list-style-type: none"> 木育イベント謝金 8千円 	332	単町	

	<ul style="list-style-type: none"> 木のおもちゃメンテナンス手数料 304千円 木のおもちゃ消耗品 20千円 								
障がい者サービス	活字による読書が困難な方を対象に「録音図書」の貸出を行う。 ・サピエ図書館利用手数料 40千円	40	その他10町30						
図書館管理運営その他経費	図書館の管理運営に必要な経費 ・図書館協議会委員報酬 54千円 ・日本図書館協会等負担金 28千円 ・消耗品費 499千円 ・テレビ受信料 13千円 ・通信運搬費 9千円 ・施設修繕料 50千円 ・図書館ボランティア保険料 4千円	657	その他8町649						図書館ボランティアを募集し、イベントや館内の装飾等に関わっていただく。
移動図書館車整備、運用事業【新規】	移動図書館車の整備運営を行う。 ・移動図書館車 5,712千円 ・移動図書館車デザイン料 253千円 ・諸経費 84千円 ・燃料費 20千円	6,069	その他5,700町369						新規事業
合計		26,405							
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
移動図書館車での貸出点数	-	-	移動図書館車整備、運用事業	目標値	-	-	650点	2,000点	
				実績値	-	-	-	-	
自動貸出機の利用割合	令和6年度	70.3%	図書館ICタグシステムの運用	目標値	-	-	72%	75%	
				実績値	-	-	-	-	
貸出点数	令和5年度	69,000点	図書館資料の整備、提供事業	目標値	-	-	75,000点	77,000点	
				実績値	-	-	-	-	
各種イベントの参加者数	-	-	人と本をつなげるきっかけづくり	目標値	-	1,050人	1,100人	1,150人	
				実績値	-	-	-	-	
木のおもちゃの貸出点数	令和5年度	150点	木のおもちゃ普及事業	目標値	-	-	160点	170点	
				実績値	-	-	-	-	
アクセシブルな資料の個人貸出点数	令和6年度	680点	障がい者サービス	目標値	-	750点	800点	800点	
				実績値	-	-	-	-	
その他事業内容	図書館が全町民の居場所、課題解決や生涯学習の場となるように管理、運営を行う。								
									
	赤ちゃんのおはなし会			木育イベント			聞く読書体験会		

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	311	事業名	文化振興事業	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	7 文化芸術振興費
まちづくりビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑦ 文化・芸術活動の振興		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,573	0	200	1,315	0	1,058	コンサートチケット代15 ふるさと未来夢基金繰入金1,300	
前年度予算額	2,580	(比較：△7)			前々年度決算額		1,331	(比較：1,242)
トータルコスト	5,517	一般職人件費		2,944 (0.4人)			会計年度職員人件費	0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内の文化芸術団体等を支援するほか、連携により、文化芸術活動の活性化を図るとともに、県内文化芸術振興団体等とも連携することにより、町民が文化芸術に親しむ機会の充実を行い、町内文化振興を図る。			
前年度からの改善点等	関係団体と連携し、文化芸術の発表活動機会を確保した。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	○鳥取県文化振興財団との連携協定に基づき、当財団によるアウトリーチ事業開催等、町内での文化芸術事業を拡充する。 ○コロナ後の活動促進に向け、文化芸術団体の更なる活動支援を行う。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
コトウラ芸術宅配便	町内教育機関と連携してのアウトリーチ公演(芸術宅配便)を開催、文化芸術鑑賞開始のきっかけづくりを展開。 報償金(謝金) 60千円	60	単町	
文化祭開催費	文化活動の向上、活性化や担い手確保のため文化祭を開催する。 消耗品費 50千円 印刷製本費(ポスター制作) 61千円 展示パネル設置・撤去委託料 1,322千円	1,433	その他 1,000 町433	
音楽の魅力発見事業 (鳥取県文化振興財団連携事業)	【目的】 鳥取県文化振興財団と連携し、町内における文化芸術鑑賞機会の充実を図る。 【内容】 事業内容<年間2公演程度> ・親子で楽しめる公演 ・鳥取県にゆかりのあるアーティストによる公演 ※事業費600千円を財団と折半 消耗品費 50千円	350	その他15 町335	
アートスタート事業補助金	【目的】 ・就学前児童への文化芸術の機会提供 ・豊かな感性と創造性の育成 【内容】 就学前児童を主対象とした文化芸術の機会提供の事業への補助。 アートスタート活動支援事業補助金 補助率10/10 (2件：200千円)	200	県10/10	
文化芸術振興補助金	【目的】 ・文化芸術団体の自主的な活動促進 ・町民への文化芸術機会の提供 【内容】 ・文化芸術団体が主催する鑑賞事業への補助。 補助率1/2 (2件：400千円)	400	その他300 町100	
合唱団活動支援事業補助金	【目的】 ・児童への文化芸術の機会提供 ・活動を通じた児童の成長を目的 【内容】 児童を中心とした合唱団の練習、発表活動、団拡充の取組への補助。 80千円×1団体	80	単町	

体験講座希望文化団体等補助金	新規文化活動者確保のため体験講座開催を支援する。 補助率10/10 文化活動団体5団体×上限10千円			50	単町				
合計				2,573					
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
補助事業利用件数	令和6年度	3件	コトウラ芸術宅配便	目標値	2件	3件	3件	-	
				実績値	2件	2件	-	-	
補助金申請数	令和6年度	2件	アートスタート事業補助金	目標値	2件	2件	2件	-	
				実績値	0件	1件	-	-	
参加者数	令和6年度	534人	文化祭開催費	目標値	534人	60人	534人	-	
				実績値	534人	-	-	-	
補助金申請数	令和6年度	5件	体験講座希望文化団体等補助金	目標値	5件	5件	-	-	
				実績値	1件	-	-	-	
補助金申請数	令和6年度	2件	文化芸術振興補助金	目標値	2件	2件	2件	-	
				実績値	0件	1件	-	-	
団員数	令和6年度	5人	合唱団活動支援事業補助金	目標値	5人	5人	5人	-	
				実績値	4人	4人	-	-	
連携事業数	令和6年度	2回		目標値	2回	2回	-	-	
				実績値	2回	2回	-	-	
その他事業内容	第8回カウベル合唱フェスティバル 			第18回琴浦町民文化祭 			第10回琴浦秋の芸能祭 		

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	2 体育振興費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			③ 地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	15,501	0	0	3,741	5,500	6,260	トレーニングルーム使用料 840 ウォーキング認定コース使用料 1 ふるさと未来夢基金繰入金 2,900	過疎債5,500
前年度予算額	13,255	(比較：2,246)			前々年度決算額		15,599 (比較：△98)	
トータルコスト	20,859	一般職人件費			4,416 (0.6人)		会計年度職員人件費 942 (0.3人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会事業でスポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげる。 ・全国大会などで優秀な成績を収めた方を表彰し功績を讃え、今後の活力につなげる。 ・総合体育館トレーニングルームにコンディショニングコーディネーター及び町民トレーナー、フィットネストレーナーを配置し、若年層や働き盛り世代から高齢者にわたる広い世代の運動習慣の定着につなげる。 ・スポーツ推進委員との連携やウォーキングの推奨により町民の運動習慣の定着と介護予防及び健康寿命延伸に寄与する。 			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○トレーニングルームや体幹教室を活用して働き盛り世代の健康作りを進める。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
町スポーツ協会補助	町スポーツ協会活動費 補助金 2,500千円 負担金 551千円(郡体育協会)	3,099	その他 2,000、 町1,099	
スポーツ少年団補助	スポーツ少年団の活動 消耗品費 10千円 負担金 8千円(中部地区交流大会参加費) 補助金 1,065千円	1,083	その他 900、町183	
トレーニングルーム運営及び教室開催	谷川コンディショニングコーディネーター及びフィットネストレーナー、町民トレーナーの指導体制の充実を図り、町民の運動習慣定着を推進する。 トレーニングルーム指導、体幹教室等各種教室の開催。 報奨金 1,087千円(町民トレーナー、フィットネストレーナー) 消耗品費 40千円 修繕費 300千円 委託料 489千円(機器保守点検) 委託料 4,647千円(コンディショニングコーディネーター)	6,563	町債4,000、 その他840 町1,723	・修繕料を実績により増額 ・トレーナー単価を改定
スポーツ推進委員活動	スポーツ推進委員の活動 委員報酬 1,367千円 費用弁償 373千円(全国・中国大会旅費) 消耗品費 336千円(事業、全国・中国大会資料代、スポ推) 保険料 58千円(傷害保険) 負担金 69千円(県・国協議会、郡連絡協議会) 備品購入費 50千円(軽スポーツ用具)	2,147	単町	・全国スポ推 旅費増額(30年勤続表彰1名) ・スポ推中国大会が島根県であるため、参加者増を見込み資料代増額 ・防寒着(下) 11名分の購入
スポーツ教室実行委員会への補助	スポーツ教室交流事業 補助金 270千円(スポーツ教室交流会実行委員会)	270	単町	
部活動の地域移行	部活動の地域展開 報償金 80千円(検討会委員)	80	単町	
その他事業	スポーツ振興全般にかかるその他事業 報償金 200千円(国際大会、指導者招聘) 消耗品費 45千円(ガイナレホーム、指導者招聘事業) 委託料 40千円(ガイナレレント設置委託) 印刷製本費 44千円	2,259	町債1,500、 その他1、 町758	・【新規】マシン、器具購入費 ・【新規】陸上指導者4回程度招聘(小・中へ)

	負担金	21千円 (ウオーキングステーション)						
	備品購入費	1,909千円 (トレーニングルームマシン・器具購入)						
合計				15,501				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
えんじょいスポーツ参加者数	令和7年度	160人	スポーツ推進委員活動	目標値	-	-	-	-
				実績値	-	-	-	-
活動団体の維持	令和7年度	15団	スポーツ少年団補助	目標値	-	-	-	-
				実績値	-	-	-	-
トレーニングルーム利用人数	令和7年度	25,000人	トレーニングルーム運営及び教室開催	目標値	-	-	-	-
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	349	事業名	社会体育利用施設管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				◎ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,454	0	0	240	0	3,214	小学校体育館使用料 72 中学校体育館使用料 118 中学校屋外運動場夜間照明使用料 50	
前年度予算額	3,454	(比較：0)			前々年度決算額		2,489	(比較：965)
トータルコスト	5,515	一般職人件費			1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費	589 (0.2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	武道館（東伯・赤碕）、各地区体育施設（古布庄・安田・以西）等の維持管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
社会体育施設 の管理運営	武道館（東伯・赤碕）、各地区体育施設（古布庄・安田・以西）等の維持管理を行う。			
	委託料	898千円	3,454 その他240、町3,214	・【新規】廃棄物処理委託料（古布庄小体育館）
	消耗品費	100千円		
	修繕料	300千円		
	手数料	619千円		
	火災保険料	152千円		
	光熱水費	1,000千円		
	使用料	27千円		
	原材料費	165千円		
	委託料	193千円		
	合計	3,454		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	350	事業名	平岩記念会館管理運営		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課	担当係	社会体育係				
予算区分	款 9 教育費	項 5 保健体育費	目 3 体育施設費				
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用しなくなる運動拠点施設の整備			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,277	0	0	102	0	1,175	平岩記念会館使用料 102	
前年度予算額	1,515	(比較：△238)			前々年度決算額		1,292	(比較：△15)
トータルコスト	2,657	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	644 (0.2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	宿泊研修などに利用するための施設として管理運営を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
平岩記念会館の管理運営	宿泊研修などに利用するための施設として管理運営を行う。			
	消耗品費	20千円	その他102、 町1,176	
	火災保険料	130千円		
	光熱水費	614千円		
	手数料	147千円 (電気設備、消防設備保守)		
	委託料	366千円 (平岩記念会館清掃、浄化槽)		
合計		1,277		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	20,321	0	0	1,404	0	18,917	総合公園施設使用料 1,220 社会体育諸収入 169 総合体育館シャワー使用料 15	
前年度予算額	23,078	(比較：△2,757)			前々年度決算額		19,760	(比較：561)
トータルコスト	30,571	一般職人件費		5,152 (0.7人)		会計年度職員人件費		5,098 (1.6人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし							
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点				
東伯総合公園の管理運営	消耗品費	1,429千円	その他 1,404 町 18,917	【新規】人工芝グラウンドこけら落としイベント費用 1,000千円 【新規】人工芝グラウンド用備品 1,839千円				
	燃料費	300千円						
	委託料	1,030千円 (総合公園清掃)						
		3,803千円 (総合公園管理)						
		55千円 (防火設備定期点検)						
		340千円 (浄化槽)						
		583千円 (野球場整備)						
		707千円 (PCB含有廃棄物処分)						
		1,000千円 (人工芝グラウンドこけら落とし)						
	手数料等	1,946千円 (電気設備保守、消防設備保守等)						
	修繕料	660千円						
	火災保険料	311千円						
	光熱水費	5,690千円						
	通信運搬費	150千円						
	使用料	106千円 (下水道使用料)						
	自動車重量税	14千円						
賃借料	300千円							
自動車保険料	45千円							
テレビ受信料	13千円							
備品購入費	1,839千円 (人工芝グラウンド用テント、ウエイト等)							
合計		20,321						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
前年度までに法定点検で指摘された項目の是正	令和7年度	2箇所	東伯総合公園の管理運営	目標値	-	-	2箇所	-
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	417	事業名	農業者トレーニングセンター運営		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課	担当係	社会体育係				
予算区分	款 9 教育費	項 5 保健体育費	目 3 体育施設費				
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			◎ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,181	0	0	142	0	2,039	トレーニングセンター使用料 142	
前年度予算額	2,733	(比較：△552)			前々年度決算額		2,189	(比較：△8)
トータルコスト	3,924	一般職人員費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人員費 271 (0.1人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
農業者トレーニングセンターの管理運営	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。	2,181	その他 142、町 2,039	
	修繕料 100千円			
	委託料 268千円 (清掃委託料)			
	33千円 (防火設備定期点検)			
	光熱水費 898千円			
	使用料 96千円 (下水道使用料)			
	通信運搬費 65千円			
	手数料 610千円 (消防設備保守、電気設備保守等)			
	火災保険料 37千円			
	テレビ受信料 13千円			
消耗品費 61千円				
合計		2,181		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	418	事業名	赤碓総合運動公園管理		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			◎ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	6,523	0	0	708	0	5,815	赤碓総合運動公園使用料 708	
前年度予算額	6,130	(比較：393)			前々年度決算額		6,357	(比較：166)
トータルコスト	11,249	一般職人件費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人件費	3,254 (1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
赤碓総合運動公園の管理運営	自動車保険料	1 5千円	その他 708、町 5,815	・黒土購入 2回→3回
	委託料	1 8 6千円 (赤碓運動公園清掃)		
		2 6 4千円 (野球場スコアボード点検)		
		7 2 6千円 (野球場内野部整備)		
		2 2千円 (浄化槽維持管理)		
	光熱水費	3, 3 2 4千円		
	通信運搬費	5 0千円		
	手数料	3 2 2千円 (消防機器点検、電気設備保守)		
	消耗品費	6 3 7千円 (黒土混合土等)		
	テレビ受信料	1 3千円		
	燃料費	1 0 0千円		
	修繕料	7 7 4千円		
	火災保険料	9 0千円		
	合計	6,523		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1627	事業名	東伯総合公園改修事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			◎誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	49,711	20,493	0	0	29,100	118		過疎債 29,100
前年度予算額	357,810	(比較：△308,099)			前々年度決算額		161,800	(比較：△112,089)
トータルコスト	51,919	一般職人件費		2,208 (0.3人)			会計年度職員人件費 (0人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	東伯総合公園内の施設整備を行い、安心安全で、誰もが利用したくなる運動拠点を提供する。また、施設のライフサイクルコストを縮減し、効率的な施設改修を行う。							
前年度からの改善点等	社会資本整備交付金を財源とすることで、事業費における一般財源の比率を低下させた。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	町民をはじめとする利用者が快適に利用できる施設整備を実施する。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
東伯総合公園給排水管路布設事業【新規】	東伯総合公園内にある平岩記念会館、野球場トイレは、水源に井戸水を使用し、汚水処理に浄化槽を利用しているが、共に老朽化が進行している。そのため、公共上下水道への接続を行う。 ・給排水管路布設工事費 35,563千円 ・設計業務委託費 5,423千円			40,986	国20,493 町債20,400 町93	新規事業		
総合体育館トランス更新工事【新規】	法定点検で耐用年数を超過していると指摘された総合体育館キュービクル内のトランスを更新する。 ・更新工事費 8,725千円			8,725	町債8,700 町25	新規事業		
合計				49,711				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
上水道に接続された施設数	令和7年度	1箇所	東伯総合公園給排水管路布設事業	目標値	-	4箇所	4箇所	4箇所
				実績値	-	1箇所	-	-
前年度までに法定点検で指摘された項目の是正	令和7年度	-	総合体育館トランス更新工事	目標値	-	-	2箇所	-
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容	東伯総合公園の施設改修を行い、来園者が安心安全に公園内の施設を利用できるようにする。							

令和8年度 人権・同和教育課ミッション

一人ひとりが尊重され、心豊かにながらまちづくりの実現

人権施策基本方針（実施計画）に基づく教育・啓発

様々な人権課題の解決を図るための教育及び啓発を行う。

■人権施策基本方針（実施計画）に基づく分野別施策（17分野）の推進と検証。 [177千円] 【継続】

- ・様々な人権問題の解決に向けて教育及び啓発を行う。
- ・差別事象が発生した場合、差別事象等対応マニュアルに基づき差別事象検討委員会を開催し、正確な実態把握と、原因や背景の分析及び再発防止に向けた教育及び啓発を行う。

■琴浦町における「人権教育」のあり方の検討 [186千円] 【継続】

- ・令和9年度琴浦町人権施策基本方針の改訂に向け、本町における「人権教育」のあり方について、町人権尊重の社会づくり条例の理念を踏まえて検討を行う。

■各文化センターの運営・維持管理（隣保館・児童館）【継続】

[隣保館運営：7,261千円（東伯：3,739千円、赤碕：3,522千円）]
[児童館運営：13,178千円（東伯：11,938千円、赤碕：1,240千円）]

- ・相談業務（支援体制）の充実。
- ・人権教育学習（「人権まなびの講座」）
- ・小中学校学習会で人権尊重における町の担い手を育成する。
- ・東伯文化センター空調改修工事 [11,441千円] 【新規】
隣保館事業及び児童館事業を円滑に運営していくため、計画的に改修工事を行う。
詳細設計業務及び本体工事（遊戯室、図書室、事務室）

町民と町との協働による取り組み

町人権尊重の社会づくり条例に基づき、町民と町の協働による人権尊重のまちづくりを行う。

■人権・同和教育推進協議会

- 各分会における人権教育活動 [150千円] 【継続】
- ・各分会（学校・園部会、行政部会、企業部会、社会教育部会、福祉部会）による人権教育・啓発活動。

○人権啓発事業 [450千円] 【継続】

- ・様々な人権問題について、正しい理解と認識を広げ、町民及び関係者一人ひとりの参加による人権が尊重され誰もが安心・安全に暮らせる住みよい町づくりの実現を図る。

○人権・同和教育部落懇談会 [378千円] 【継続】

- ・地域における人権意識の高揚を図り、人権尊重のまちづくりを町民と町が協働して推進する。
- ＜実施方法＞ 各部落単位で実施
- ＜開催時期＞ 10月～12月

（事前説明会を9月下旬から各地区ごとに実施）

○ことうら人権まなびの集い [259千円] 【継続】

- ・一人ひとりの違いを認め合い、共に生きる社会の実現に向け、様々な人権問題について考えることを目的に開催する。
- ＜実践発表＞ 人権学習発表
- ＜啓発活動＞ 人権啓発パネル展示、人権標語展示等
- ＜講演会＞ 人権講演会

(様式1)

令和8年度 事業体系図

所属名: 人権・同和教育課

(単位:千円、人)

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続等の別	当初予算額	前年度当初予算額	前々年度決算額	一般職人数	会計年度職員人数
3 民生費	1 社会福祉費	1 社会福祉事務費	68	社会福祉事務費	継続	955	954	922	0.2	0.0
			小計			955	954	922	0.2	0.0
3 民生費	1 社会福祉費	4 隣保館運営費	570	東伯隣保館運営費	継続	3,739	3,643	2,956	0.2	1.5
			571	赤碓隣保館運営費	継続	3,522	4,588	6,159	0.2	1.5
			小計			7,261	8,231	9,115	0.4	3.0
3 民生費	2 児童福祉費	3 児童館運営費	566	東伯児童館運営費	継続	11,937	7,717	1,034	0.2	1.5
			567	赤碓児童館運営費	継続	1,240	1,559	1,372	0.2	1.5
			小計			13,177	9,276	2,406	0.4	3.0
9 教育費	4 社会教育費	8 人権教育費	296	人権・同和教育推進事業(事務費)	継続	2,552	2,480	2,239	0.4	1.0
			302	人権尊重の社会づくりの推進	継続	433	507	344	0.2	0.0
			575	人権教育推進事業(法務省委託)	継続	259	261	151	0.2	0.0
			小計			3,244	3,248	2,734	0.8	1.0
9 教育費	4 社会教育費	8 人権教育費	692	住民意識調査	新規	967			0.2	0.0
			小計			967	0	0	0.2	0.0
所属合計						25,604	21,709	15,177	2.0	7.0

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	68	事業名	社会福祉総務費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり			
重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						

2 当該年度の事業費

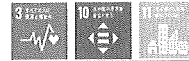
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	955	0	96	0	0	859		
前年度予算額	954	(比較：1)			前々年度決算額		922	(比較：33)
トータルコスト	2,427	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内の人権擁護、啓発、再発防止等に携わる人権擁護委員、保護司、更生保護女性会の活動助成を行う。							
前年度からの改善点等	-							
前年度評価で整理した取り組みの内容	関係団体が活動しやすい環境を整え、一人ひとりの人権が守られる社会の実現に向け、活動を推進する。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
人権の花運動 (人権啓発活動地方委託事業 法務省委託)	小学校に花の苗を配布し、子ども達が協力して花を育てることによって生命の尊さを実感し、豊かな心を育み、思いやりの心を体得することを目的とする。 小学校へ「人権の花」を贈呈(5校)			97	県10/10			
更生保護団体の活動支援	「社会を明るくする運動」をはじめ、更生保護事業を行う団体や保護司に対し助成を行う。 ・報償金 296千円 保護司報償金 296千円 (22,700円×13人) ・負担金 233千円 東伯地区保護司会負担金 136千円 (6,435戸×21円) 更生保護女性会負担金 97千円 (6,435戸×15円)			529	単町			
人権擁護委員活動支援	「人権擁護委員の日」「人権週間」「特設人権相談所」など、町内で人権啓発を担う人権擁護委員に対する支援及び助成。 ・報償金 238千円 (34千円×7名) ・負担金 70千円 人権擁護委員協議会負担金 63千円 県人権擁護委員連合会負担金 7千円 ・消耗品費 21千円			329	単町			
合計				955				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人権の花運動にかかる啓発活動実施回数	令和6年度	5回(校)	人権の花運動(人権啓発活動地方委託事業 法務省委託)	目標値	5回(校)	5回(校)	5回(校)	-
				実績値	5回(校)	-	-	-
人権擁護委員との啓発活動実施回数	令和6年度	28回	人権擁護委員活動支援	目標値	25回	25回	25回	-
				実績値	28回	25回	-	-
更生保護団体との啓発活動実施回数	令和6年度	7回	更生保護団体の活動支援	目標値	7回	7回	7回	-
				実績値	7回	7回	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	570	事業名	東伯隣保館運営費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 隣保館運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

(単位：千円)

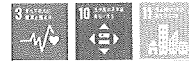
2 当該年度の事業費

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,739	0	2,757	27	350	605	施設使用料12千円 雑入15千円	過疎債 300千円
前年度予算額	3,643	(比較：96)			前々年度決算額		2,956	(比較：783)
トータルコスト	11,705	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費		6,494 (1.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	あらゆる人権課題の解消、地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点・住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権尊重の社会づくりに資する。							
前年度からの改善点等	施設の維持管理について、耐用年数等に応じて計画的に更新を行う。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	住民交流の拠点、地域福祉と人権啓発、共生のまちづくりに引き続き取り組む。							
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点				
文化センター運営審議会	文化センター運営審議会を年2回開催し、年間計画や今後の取り組みを審議する。 委員12人(地域住民代表、学識経験者、関係団体代表、小中学校代表、こども園・保育園代表、行政職員代表) ・委員報酬 44千円(2千円×11人×2回)	44	県3/4 町1/4					
各種隣保館事業	各種隣保館事業(人権まなびの講座、部落解放文化祭、小中学生学習会、学習支援事業、教室活動等) ・報償金 700千円 ・需用費 210千円(消耗品) ・保険料 15千円 ・負担金 10千円(中3交流会)	935	県3/4 町1/4					
東伯文化センター空調更新工事【新規】	東伯文化センター事務室のエアコンの改修。 ・全体工事費 7,591千円 ※児童館と按分(内訳)隣保館：376千円(児童館：7,215千円)	376	町債350千円 町26千円	エアコンの更新を行い、文化センターの環境整備を行う。				
施設整備(修繕・備品購入)	・修繕料(アコーディオンスクリーン取付) 330千円 ・備品購入費(中折れ机等) 453千円 ・図書 11千円	794	県3/4 町1/4					
その他事務費、施設の維持管理費等	施設の運営及び維持管理等に要する経費 ・費用弁償 67千円 ・需用費 911千円(消耗品費267千円、燃料費69千円、印刷製本費17千円、光熱水費558千円) ・役務費 140千円(通信運搬費59千円、手数料23千円、保険料58千円) ・委託料 65千円 ・使用料及び賃借料 337千円(使用料27千円、借上料310千円) ・負担金 70千円(県隣保館連絡協議会)	1,590	県3/4 町1/4					
合計		3,739						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人権まなびの講座アンケート結果(人権問題への関心・理解度)	令和8年度	80%	各種隣保館事業	目標値	-	-	80%	80%
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	571	事業名	赤碓隣保館運営費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 隣保館運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実		
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

(単位：千円)

2 当該年度の事業費

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,522	0	2,265	60	0	1,197	施設使用料40千円 雑入20千円	
前年度予算額	4,588	(比較：△1,066)		前々年度決算額		6,159	(比較：△2,637)	
トータルコスト	4,994	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費		(1.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	あらゆる人権課題の解消、地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点・住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権尊重の社会づくりに資する。							
前年度からの 改善点等	施設の維持管理について、耐用年数等に応じて計画的に更新を行う。							
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	住民交流の拠点、地域福祉と人権啓発、共生のまちづくりに引き続き取り組む。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
文化センター運営審議会	文化センター運営審議会を年2回開催し、年間計画や今後の取り組みを審議する。 委員12人(地域住民代表、学識経験者、関係団体代表、小中学校代表、こども園・保育園代表) ・委員報酬 48千円(2千円×12人×2回)	48	県3/4 町1/4					
各種隣保館事業	各種隣保館事業(まなびの講座、部落解放文化祭、小中学生解放学習会、学習支援事業、地域交流事業等) ・報償費 661千円 ・需用費 126千円(消耗品費) ・負担金 10千円(中3交流会)	797	県3/4 町1/4					
施設費整備 (修繕)	修繕料 349千円 ・ガラス等修繕 30千円 ・多目的室襖張替え 44千円 ・玄関カーペット金具取付け修繕 全体98千円 ※児童館と按分 (内訳) 隣保館：68千円(児童館：30千円) ・駐車場水たまり修繕 全体300千円 ※児童館と按分 (内訳) 隣保館：207千円(児童館：93千円)	349	県3/4 町1/4					
その他事務 費、施設の 維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 ・報償費 39千円 ・費用弁償 43千円 ・需用費 1,367千円 (消耗品費282千円、燃料費75千円、光熱水費1,010千円) ・役務費 101千円 (通信運搬費47千円、保険料54千円) ・委託料 242千円 ・使用料及び賃借料 455千円 (使用料30千円、借上料425千円) ・負担金 70千円 (県隣保館連絡協議会) ・備品購入費 11千円	2,328	県3/4 町1/4					
合計		3,522						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人権まなびの講座アンケート結果(人権問題への関心・理解度)	令和8年度	80%	各種隣保館事業	目標値	-	-	80%	80%
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	566	事業名	東伯児童館運営費		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

(単位：千円)

2 当該年度の事業費

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	11,937	3,515	0	5	7,550	867	雑入5千円	過疎債 3,300千円
前年度予算額	7,717	(比較：4,220)			前々年度決算額		1,034	(比較：10,903)
トータルコスト	21,343	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費		7,934 (1.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全な居場所づくりや遊びの提供を行う。 親子のふれあいや地域住民との関わりの中での、子ども達の自尊感情の育成と豊かな人間形成を行う。 活動をととして、自ら考え行動できる子どもの育成や仲間づくりができるよう保護者を支援する。							
前年度からの改善点等	施設の維持管理について、耐用年数等に応じて計画的に更新を行う。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務の他機関との連携強化 子どもと保護者が一緒に活動する機会を提供することで、子どもの成長を支援する。 同じ活動を時間帯を変更して複数回開催する等の工夫を行い行事に参加しやすくする。 							
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点				
各種児童館活動	年間を通したお話し会や工作教室、じどうかんまつり等を開催し、子どもや保護者のつながりを深め子どもの成長を支える。 ・報償費 30千円 (指導謝金) ・需用費 142千円 (消耗品)	172	単町					
東伯文化センター空調改修工事 【新規】	東伯文化センター空調改修工事の設計委託料 3,850千円 児童館部分 (遊戯室、図書室) と共有部分 (事務室) のエアコンの更新工事 ・全体工事請負費 7,591千円 ※隣保館と按分 (内訳) 児童館：7,215千円 (隣保館：376千円)	11,065	国3,515千円 町債7,550千円					
環境整備 (修繕)	児童館を整備し、遊びや活動しやすい環境づくりを行う。 ・修繕料 遊具塗装 55千円 ガラス修繕等 30千円	85	単町					
その他事務費、施設の維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 ・報奨金 28千円 ・需用費 383千円 (消耗品費90千円、燃料費43千円、光熱水費242千円、医薬材料費8千円) ・役務費 43千円 (通信運搬費24千円、手数料6千円、保険料13千円) ・使用料及び賃借料 118千円 (下水道使用料12千円、印刷機リース106千円) ・備品購入費 33千円 ・負担金 10千円 (県児童館連絡協議会)	615	単町					
合計		11,937						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
児童館の来館者数	令和6年度	2,211人	各種児童館活動	目標値	2,500人	2,500人	2,500人	-
				実績値	2,211人	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	567	事業名	赤碓児童館運営費		事業区分	○新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費	
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,240	0	0	15	0	1,225	雑入15千円	
前年度予算額	1,559	(比較：△319)			前々年度決算額		1,372	(比較：△132)
トータルコスト	9,731	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費		7,019 (1.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全な居場所づくりや遊びの提供を行う。 親子のふれあいや地域住民との関わりの中での、子ども達の自尊感情の育成と豊かな人間形成を行う。 活動をとおして、自ら考え行動できる子どもの育成や仲間づくりができるよう保護者を支援する。							
前年度からの改善点等	施設の維持管理について、耐用年数等に応じて計画的に更新を行う。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務の他機関との連携強化 子どもと保護者が一緒に活動する機会を提供することで、子どもの成長を支援する。 							
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点				
環境整備 【改善】	修繕料 310千円 ・ 駐車場水たまり修繕 全体300千円 ※隣保館と按分 (内訳) 児童館：93千円 (隣保館：207千円) ・ 図書室カーペット張替え 167千円 ・ 玄関カーペット金具取付け修繕 全体98千円 ※隣保館と按分 (内訳) 児童館：30千円 (隣保館：68千円) ・ ガラス修繕等 20千円	310	単町					
各種児童館活動	年間を通したお話し会や工作教室、じどうかんまつりを開催し、子どもや保護者のつながりを深め子どもの成長を支える。 ・ 報償費(指導謝金) 9千円 ・ 消耗品費 110千円	119	単町					
その他事務費、施設の維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 需用費 524千円 (消耗品費90千円、燃料費20千円、光熱水費407千円、医薬材料費7千円) 役務費 51千円 (通信運搬費23千円、手数料17千円、保険料11千円) 使用料及び賃借料 166千円 (下水道使用料13千円、複合機・印刷機リース153千円) 備品購入費 30千円 負担金 40千円 (県児童館連絡協議会10千円、全国児童館連絡協議会30千円)	811	単町					
合計		1,240						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
児童館来館者数	令和6年度	8,588人	各種児童館活動	目標値	8,500人	8,500人	8,500人	-
				実績値	8,588人	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	296	事業名	人権・同和教育推進事業（事務費）		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり			
重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,552	0	30	0	0	2,522		
前年度予算額	2,480	(比較：72)			前々年度決算額	2,239	(比較：313)	
トータルコスト	5,496	一般職人員費		2,944 (0.4人)		会計年度職員人員費		(1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町民一人ひとりの人権に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを推進するため、町等が実施する各種講演会・研修会の企画や学校・社会教育団体、企業等の学習支援等を行い、学習内容や機会の充実を図る。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	人権教育及び啓発の機会を確保するとともに、様々な人権について住民が学べる場を提供する。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
琴浦町人権・同和教育推進協議会運営費	・町人権・同和教育推進協議会 委託費 1,180千円 ・各地区人権・同和教育推進協議会委託費 12千円×1地区=12千円	1,192	単町					
人権・同和教育部落懇談会の推進	・時間外手当 320千円(職員派遣) ・報償金 58千円(推進員派遣)	378	単町					
人権教育啓発教材	人権教育・啓発のための教材を湯梨浜町、北栄町、三朝町と合同で制作する。 委託料 31千円	31	県10/10					
対象別人権・同和教育研修支援事業	社会教育団体、企業等が自ら企画する人権教育研修にかかる講師謝金を助成。 報償金：上限18千円×5団体 90千円	90	単町					
人権教育推進員及び教職員の研修	人権教育推進員及び教職員の資質向上のため、全国研修へ派遣する。 人権教育推進員(2大会派遣) ・費用弁償 109千円 ・消耗品費 12千円 教職員(1大会、2名派遣) ・費用弁償 133千円 ・消耗品費 10千円	264	単町					
その他事務費	消耗品の購入や公用車関係経費等 597千円 ・消耗品費 58千円 ・燃料費 34千円 ・自動車保険料 19千円 ・公用車借上料 245千円 ・県人権文化センター負担金 241千円	597	単町					
合計		2,552						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
部落懇談会の内容への関心・理解度	令和8年度	-	人権・同和教育部落懇談会の推進	目標値	-	-	80%	80%
				実績値	-	-	-	-
人権啓発事業の内容への参加者の関心・理解度	令和8年度	-	琴浦町人権・同和教育推進協議会運営費	目標値	-	-	80%	80%
				実績値	-	-	-	-
部落懇談会実施部落	令和6年度	130	人権・同和教育部落懇談会の推進	目標値	162	162	162	162
				実績値	130	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



1 基本情報

一般会計

事業番号	302	事業名	人権尊重の社会づくりの推進		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり		④ 支え合いと共生のまちづくり				
重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	433	0	0	0	0	433		
前年度予算額	507	(比較：△74)			前々年度決算額		344	(比較：89)
トータルコスト	1,905	一般職人件費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人件費	(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	「人権尊重の社会づくり条例」に基づき、一人ひとりの人権が尊重される住みよい町の実現に資する。							
前年度からの 改善点等								
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	人権施策基本方針の実施計画の取り組み状況の確認・点検・評価を行う。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
人権尊重の 社会づくり 審議会	人権施策基本方針に基づく分野別の取り組み状況や今後の施策について審議する。 委員17人(学識経験者、各種団体代表、行政職員) ・報酬 170千円(委員報酬2千円×17人×5回) オブザーバー1人 ・報償金 50千円(助言・指導10千円×5回)	220	単町					
人権侵害等 の事象対応	差別事象検討委員会の開催 差別事象が発生した場合、事象の要因、社会的背景を分析するとともに、再発防止や今後の啓発方法のあり方について協議・検討する。また、困難な問題については、顧問弁護士に相談し、解決につなげる。 ・報償費 143千円 (内訳：委員報酬 43千円×3回=129千円、弁護士報酬 7千円×2回=14千円)	143	単町					
自治体と連 携する組織 への負担金	負担金 64千円 (東伯郡同和対策推進協議会 38千円、部落解放人権政策確 立要求鳥取県実行委員会 26千円)	60	単町					
消耗品	事務費 10千円	10	単町					
合計		433						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
人権施策基本方針の実施 状況の点検・評価の実施	令和6年度	1回	人権尊重の社会づくり審議会	目標値	1回	1回	5回	-
				実績値	1回	2回	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	575	事業名	人権教育推進事業(法務省委託)		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり			
	重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	259	0	186	0	0	73		
前年度予算額	261	(比較：△2)					151	(比較：108)
トータルコスト	1,731	一般職人件費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人件費	(0人)

3 事業の概要

事業の目的(なんのために)	人権に対する住民一人ひとりの正しい理解と認識を深め、「人権尊重のまち」を築くため、啓発活動を推進する。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	参加者が増えるよう事業の開催方法やテーマを企画する。							
細事業等	内容			予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点		
人権啓発活動地方委託事業(法務省委託)	ことら人権まなびの集い ・報償金 229千円 人権講演会講師謝金(宿泊費・交通費等含む) 220千円 託児謝金 9千円 ・消耗品費 30千円 資料用紙代 8千円 事例発表者謝礼 6千円 啓発物品 16千円			259	県186千円 町73千円			
	合計			259				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
参加者数	令和6年度	152人	人権啓発活動地方委託事業(法務省委託)	目標値	150人	100人	110人	120人
				実績値	152人	80人	-	-
参加者アンケートの結果(人権問題への関心・理解度)	令和7年度	98%	人権啓発活動地方委託事業(法務省委託)	目標値	95%	95%	95%	95%
				実績値	-	98%	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	692	事業名	住民意識調査		事業区分	■新規 □継続	
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費	
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④ 支え合いと共生のまちづくり			
重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	967	0	0	0	0	967		
前年度予算額						前々年度決算額		
トータルコスト	2,439	一般職人件費		1,472 (0.2人)		会計年度職員人件費	0 (0人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	琴浦町の人権・同和教育の取組みと成果と課題を明らかにし、今後のより効果的な人権・同和教育の推進を図るため意識調査を実施する。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容								
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点				
人権・同和教育に係る意識調査【新規】	町民を対象に調査票による意識調査を実施し、集計結果の分析、考察を行う。 ・報償費 350千円 集計 250千円 分析・考察 100千円 ・消耗品費 40千円 ・印刷製本費 37千円 ・通信運搬費 540千円 調査票郵便代 414千円 返信用封筒郵便代 126千円	967	単町	前回調査はR元年度に実施していません。 令和9年度の人権施策基本方針の改定を控え、令和8年度に調査実施します。 Webフォームでのアンケート回答に対応します。				
合計		967						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
調査対象者に対する回答者の割合	令和元年度	34.6%	人権・同和教育に係る意識調査	目標値	-	-	35%	-
				実績値	-	-	-	-
その他事業内容								